

茨城県修学生・修学生医師向け キャリア形成プログラム —令和8年度（2026年度）版—

【注意事項】

- 本キャリア形成プログラムは、現状での一つのモデルです。各病院の実際の研修内容等は、修学生の個々のキャリアに合わせ決定していくことになります。
- 各病院のプログラムは現在申請中であり、今後、連携施設（病院）等の内容は変更となる可能性があります。

※令和8年度(2026年度)に臨床研修を開始する方が本キャリア形成プログラムの対象となります。令和7年度(2025年度)以降に入学した方は、修学資金貸与制度の改正により従事義務が異なりますのでご注意ください。

令和8年度（2026年度）修学生向けキャリア形成プログラム 目次

	ページ		ページ
【医師修学資金(地域枠・医師修学資金)制度について】		【産婦人科】	
「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度(地域枠)」及び	1	筑波大学附属病院	40
「茨城県医師修学資金貸与制度」について		土浦協同病院	41
地域枠制度と医師修学資金制度の比較	2		
【内科】		【眼科】	
筑波大学附属病院	3	筑波大学附属病院	42
水戸協同病院	8	東京医科大茨城医療センター	43
水戸済生会総合病院	9		
水戸医療センター	10	【耳鼻咽喉科】	
県立中央病院	12	筑波大学附属病院	44
日立総合病院	13		
ひたちなか総合病院	14	【泌尿器科】	
土浦協同病院	15	筑波大学附属病院	45
東京医科大茨城医療センター	16		
筑波記念病院	17	【脳神経外科】	
牛久愛和総合病院	18	筑波大学附属病院	46
		土浦協同病院	47
【小児科】		【放射線科】	
筑波大学附属病院	19	筑波大学附属病院(放射線治療)	48
土浦協同病院	20	筑波大学附属病院(放射線診断)	49
県立こども病院	21		
【皮膚科】		【麻酔科】	
筑波大学附属病院	22	筑波大学附属病院	50
東京医科大茨城医療センター	23		
【精神科】		【病理診断科】	
筑波大学附属病院	24	筑波大学附属病院	51
県立こころの医療センター	25		
栗田病院	26	【救急科】	
【外科】		筑波大学附属病院	52
筑波大学附属病院	27	筑波メディカルセンター病院	53
水戸医療センター	30	土浦協同病院	54
県立中央病院	32		
日立総合病院	34	【形成外科】	
土浦協同病院	35	筑波大学附属病院	55
筑波記念病院	36		
【整形外科】		【リハビリテーション科】	
筑波大学附属病院	37	筑波大学附属病院	56
水戸協同病院	38	筑波記念病院	57
土浦協同病院	39		
		【総合診療】	
		筑波大学附属病院	58
		北茨城市民病院	60
		東京医科大学茨城医療センター	61

「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）」及び 「茨城県医師修学資金貸与制度（一般修学資金）」について

1 制度概要（2026年度向けキャリア形成プログラム対象者＝2020年度入学者）

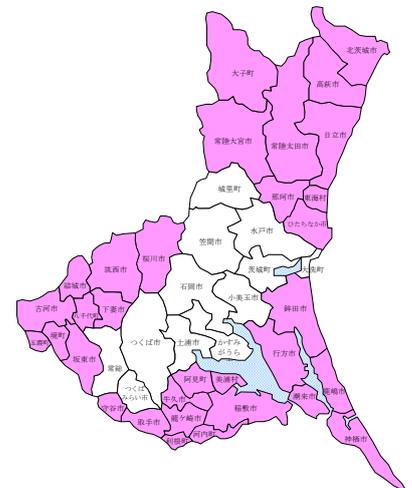
項目	地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）		医師修学資金貸与制度 （一般修学資金）
	【全国対象】		
概要	医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に地域枠設置大学にて選抜試験を実施。入学者に修学資金を貸与（地域枠入学者に貸与）		医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に修学資金を貸与
貸与条件	県内高校卒業者または県内居住者の子	全国対象（筑波大学、東京科学大学、東京医科大学、順天堂大学、昭和医科大学、日本大学、帝京大学、獨協医科大学）の出願資格を満たす者	<ul style="list-style-type: none"> 県内高校卒業者または県内居住者の子 筑波大学医学類生（県外出身も可）
貸与額	国公立大学 月 20 万円（年 240 万円／6 年計 1,440 万円） 私立大学 月 25 万円（年 300 万円／6 年計 1,800 万円）		月 15 万円（年 180 万円／6 年計 1,080 万円）
貸与期間	正規の修学期間		正規の修学期間
返還免除	知事が指定する医療機関で9年間勤務(9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務)		県内医師不足地域で貸与期間と同期間勤務（貸与期間が3年未満の場合は3年）

2 地域枠設置数（70人）※2026年4月現在（予定）

筑波大学 36人、東京医科大学 8人、東京科学大学 5人、杏林大学 2人、日本医科大学 2人、北里大学 4人、帝京大学 2人、順天堂大学 2人、昭和医科大学 4人、日本大学 3人、獨協医科大学 2人

3 医師不足地域（2026年4月現在（予定）） ※右図の色塗りの市町村

日立二次保健医療圏、常陸太田・ひたちなか二次保健医療圏、鹿行二次保健医療圏、筑西・下妻二次保健医療圏、古河・坂東二次保健医療圏、取手・竜ヶ崎二次保健医療圏



（参考）

1. 医師不足地域の適用期間

○2024年度～2026年度（以降、3年毎に見直し予定）

※2020年度以降入学者は**臨床研修開始時点**の医師不足地域が適用

2. 例外的措置の適用

医師不足地域での従事義務と、専門医資格の取得・維持との両立が困難になる一部の診療科については、医師不足地域以外での勤務を医師不足地域での勤務とカウントするなど、修学生のキャリア形成に支障が生じないように例外的な取り扱いとする。

<2025年11月時点の対象診療科>

基幹施設	診療科
筑波大学附属病院	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、病理診断科、放射線科（放射線診断）

3. 一般修学資金貸与者の経過措置

2020～2024年度に入学した一般修学資金貸与者のうち、県内従事義務が5年以上の者については、医師不足地域の臨床研修病院のマッチング枠数に鑑み、臨床研修期間に限り、県内全域での勤務を可能とする。

<勤務イメージ>

臨床研修 2年	医師3～6年目
医師不足地域	
臨床研修 2年	医師3～6年目
県内全域でOK!	医師不足地域

地域枠制度と医師修学資金制度の比較

(2026年度向けキャリア形成プログラム対象者＝2020年度入学者)

区 分	地域枠制度	医師修学資金制度
1 茨城県内での 従事義務	9年間	貸与期間と同期間 (3年未満の場合は3年)
従事時期	医師免許取得後 直ちに	医師免許取得後又は 大学病院(全国可)で臨床 研修(猶予扱い)終了後直 ちに
2 医師不足地域 での従事期間	県内での従事義務期間の 2分の1以上 (4年半以上)	貸与期間と同期間 (3年未満の場合は3年)
3 認定専門研修		
医師不足地域外(県内) で研修する場合	—	1年 (義務期間算入)
県外で研修する場合	知事の認める期間 ※概ね3年を目安 (猶予扱い)	1年 (猶予扱い)

※2020～2024年度に入学した医師修学資金(一般修学資金)貸与者のうち、県内従事義務が5年以上の者については、臨床研修期間に限り、県内全域での勤務が可能とする。

筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム(地域枠, 修学生)

◎特徴

- 1) 内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
- 2) 10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一貫して研修できます。
また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
- 3) 最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「連動研修」が可能です。
- 4) 進路のSubspecialty分野を決めずに3年間内科を幅広く研修することが可能です(病院総合内科に所属します。)
- 5) 専門研修を行いながら大学院進学が可能です。(大学院専従中や留学中は義務年限猶予期間となります)
- 6) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

◎内科専門研修研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内の医療機関)	茨城西南医療センター、茨城東病院、日立総合病院、ひたちなか総合病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日鉦記念病院、常陸大宮済生会病院、取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院、東京医大茨城医療センター、総合守谷第一病院、茨城県立医療大学附属病院、牛久愛和総合病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域 <u>外</u> の医療機関)	筑波大学附属病院、石岡第一病院、いちばら病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸協同病院、水戸済生会総合病院

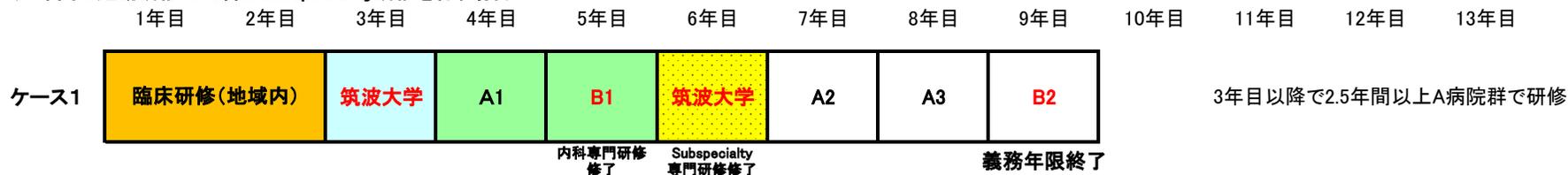
◎研修例:(あくまで例であって、順番等は個別にかかります)

オレンジ色: 臨床研修期間	内科専門研修:原則1年以上基幹病院,原則1年以上連携施設研修
水色: 内科専門研修期間	Subspecialty研修修了基準は各Subspecialty分野ごとに異なるため下記は最短期間を掲載しておりますが、延長する必要があることがあります
黄色: 内科系Subspecialty専門研修期間	※内科・Subspecialty連動研修
緑色: 内科・Subspecialty連動研修※期間	内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく研修方式 連動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。(詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください)

(1)地域枠(義務年限9年間)

※赤字:B病院群

i)4年間で連動研修で内科とSubspecialty研修を行う場合



ケース2	臨床研修(筑波大学) 1年間のみ地域内	A1	筑波大学	B1	筑波大学	A2	A3	A4
			内科専門研修 修了	Subspecialty 専門研修修了				義務年限終了

臨床研修が筑波大学で1年間地域内研修ができた場合
3年目以降で3.5年間以上A病院群で研修

ケース3	臨床研修(地域外)	A1	A2	筑波大学	A3	筑波大学	A4	A5
			内科専門研修 修了	Subspecialty 専門研修修了				義務年限終了

臨床研修が地域外だった場合, 3年目以降で4.5年間以上A病院群で研修

ケース4	臨床研修(地域外)	A1	B1	筑波大学	筑波大学 (猶予)	A2	A3	A4	A5
			内科専門研修 修了	Subspecialty 専門研修修了					義務年限終了

Subspecialty専門研修が筑波大学またはB群の病院でなければ難しい分野の場合,
義務年限を延長し, Subspecialty専門医取得後にA病院群で勤務

ii) 内科専門研修修了後にSubspecialty研修を行う場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

ケース5	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	筑波大学	B1	B2	A3
			内科専門研修 修了		Subspecialty 専門研修修了			義務年限終了

5年目にSubspecialtyを決定し6年目からSubspecialty専門研修開始
※1年だけ連動研修も可能

ケース6	臨床研修(地域外)	A1	A2	筑波大学	筑波大学	B1 (猶予)	A3	A4	A5
			内科専門研修 修了		Subspecialty 専門研修修了				義務年限終了

5年目にSubspecialtyを決定し6年目からSubspecialty専門研修開始
Subspecialty専門研修が筑波大学またはB群の病院でなければ難しい分野の場合,
その分義務年限は延長

iii) 内科の専門研修修了後医師不足地域で勤務をしてからSubspecialty研修を行う場合

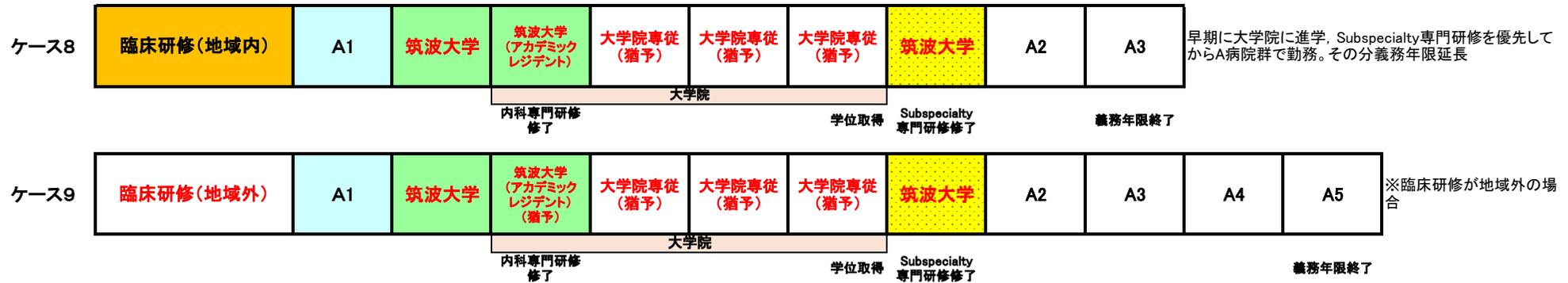
1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

ケース7	臨床研修(地域外)	A1	A2	筑波大学	A3	A4	A5	筑波大学	B1	B2
			内科専門研修 修了					義務年限終了		Subspecialty 専門研修修了

内科専門研修後, A病院群で勤務し先に義務年限修了
その後Subspecialty研修を行う

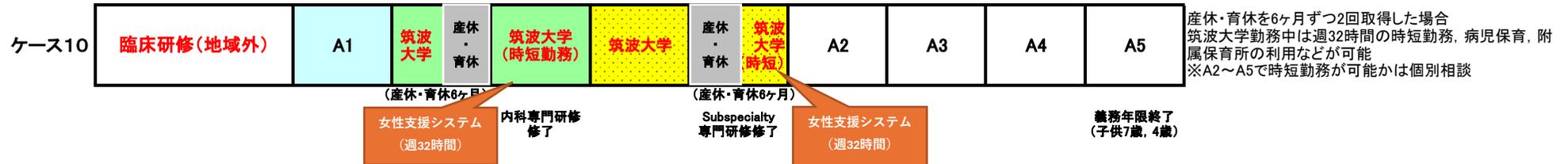
iv) 猶予を使って大学院進学を行う場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目



iv) 産休・育休が入った場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

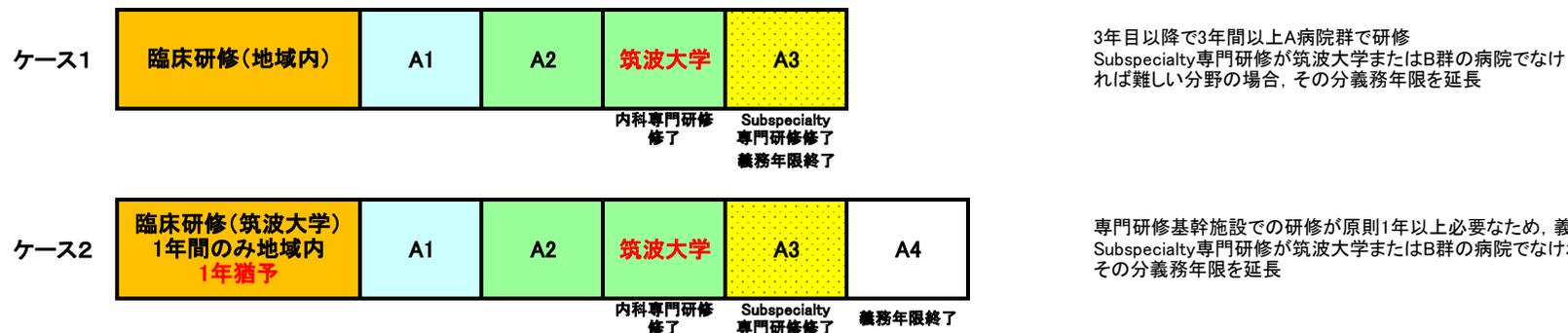


(2) 一般修学(貸与期間と同期間医師不足地域内で勤務) ※6年間の場合

※赤字: B病院群

i) 4年間で連動研修で内科とSubspecialty研修を行う場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目



ケース3

臨床研修(地域外) 猶予	A1	A2	筑波大学	A3	A4	A5
--------------	----	----	------	----	----	----

専門研修基幹施設での研修が原則1年以上必要のため、義務年限が最低2年延期

内科専門研修修了 Subspecialty 専門研修修了 義務年限終了

ケース4

臨床研修(地域外) 猶予	A1	B1 (猶予)	筑波大学	筑波大学 (猶予)	A2	A3	A4	A5
--------------	----	---------	------	-----------	----	----	----	----

Subspecialty 専門研修が筑波大学またはB群の病院でなければ難しい分野の場合、その分義務年限を延長

内科専門研修修了 Subspecialty 専門研修修了 義務年限終了

ii) 内科専門研修修了後にSubspecialty研修を行う場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

ケース5

臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	A3	筑波大学	B1
-----------	------	----	----	----	------	----

5年目にSubspecialtyを決定し6年目からSubspecialty専門研修開始
※1年だけ連動研修も可能

内科専門研修修了 義務年限終了 Subspecialty 専門研修修了

ケース6

臨床研修(地域外) 猶予	A1	A2	筑波大学	B1 (猶予)	筑波大学 (猶予)	A3	A4	A5
--------------	----	----	------	---------	-----------	----	----	----

Subspecialty 専門研修が筑波大学またはB群の病院でなければ難しい分野であり、先にSubspecialty 専門医を取得してからA病院群で勤務する場合、その分義務年限を延長

内科専門研修修了 Subspecialty 専門研修修了 義務年限終了

iii) 猶予を使って大学院進学を行う場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

ケース7

臨床研修(地域外) 猶予	A1	筑波大学	筑波大学 (アカデミックレジデント) (猶予)	大学院専従 (猶予)	大学院専従 (猶予)	大学院専従 (猶予)	筑波大学	A2	A3	A4	A5
--------------	----	------	-------------------------	------------	------------	------------	------	----	----	----	----

早期に大学院に進学、Subspecialty 専門研修を優先してからA病院群で勤務。その分義務年限延長

内科専門研修修了 大学院 学位取得 Subspecialty 専門研修修了 義務年限終了

iv) 産休・育休が入った場合

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目

ケース8

臨床研修(地域外) 猶予	A1	筑波大学	産休・育休	筑波大学 (時短勤務)	筑波大学 (猶予)	産休・育休	筑波大学 (時短勤務) (猶予)	A2	A3	A4	A5
--------------	----	------	-------	-------------	-----------	-------	------------------	----	----	----	----

産休・育休を6ヶ月ずつ2回取得した場合、筑波大学勤務中は週32時間の時短勤務、病児保育、附属保育所の利用などが可能
※A2～A5で時短勤務が可能かは個別相談

(産休・育休6ヶ月) 内科専門研修修了 (産休・育休6ヶ月) Subspecialty 専門研修修了 義務年限終了 (子供7歳、4歳)

女性支援システム (週32時間) 女性支援システム (週32時間)

◎Subspecialty専門医取得および資格維持に関して

	連動研修	Subspecialty専門研修修了まで 猶予期間を設けずに取得可能か	医師不足地域で勤務しながら専門医の更新が可能か
循環器	可	可能	可能
消化器	可	可能	可能
呼吸器	可	可能	可能
腎臓	可	可能	可能
内分泌代謝・糖尿病	可	可能	可能
血液	可	可能	可能
膠原病リウマチ	可	可能	可能
神経	可	可能	可能
アレルギー	不可	サブスペシャリティ研修に関して専門医機構審議中	サブスペシャリティ研修に関して専門医機構審議中
感染症	不可	可能	可能
腫瘍	不可	サブスペシャリティ研修に関して専門医機構審議中	サブスペシャリティ研修に関して専門医機構審議中
緩和	不可	(機構認定外)学会認定 カリキュラム制	(機構認定外)学会認定 カリキュラム制
脳卒中	不可	(機構認定外)学会認定 カリキュラム制	(機構認定外)学会認定 カリキュラム制

◎Subspecialtyごとの病院群(2025年度時点)

	A病院群(医師不足エリア内の連携施設等医療期間) 主な研修病院	B病院群(医師不足エリア外の連携施設等医療期間) 主な研修病院
循環器	茨城西南医療センター, 日立総合病院, ひたちなか総合病院, 神栖済生会病院, 龍ヶ崎済生会病院, 総合守谷第一病院, 茨城県立医療大学付属病院	筑波大学附属病院, 霞ヶ浦医療センター, 筑波学園病院, 筑波記念病院, 筑波メディカルセンター病院, 茨城県立中央病院, 水戸医療センター, 水戸協同病院, 水戸済生会総合病院
消化器	ひたちなか総合病院, 日立総合病院, 龍ヶ崎済生会病院, つくばセントラル病院, 小山記念病院	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 筑波学園病院, 筑波メディカルセンター病院, 筑波記念病院, 水戸協同病院, 水戸医療センター
呼吸器	ひたちなか総合病院, 茨城西南医療センター病院, 日立総合病院, 茨城東病院, 日鉦記念病院, 龍ヶ崎済生会病院, つくばセントラル病院, 総合守谷第一病院, 小山記念病院	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 筑波学園病院, 筑波メディカルセンター病院, 筑波記念病院, 水戸協同病院, 水戸医療センター, 霞ヶ浦医療センター, 水戸赤十字病院
腎臓	茨城西南医療センター, 日立総合病院, ひたちなか総合病院, 神栖済生会病院, 茨城県西部メディカルセンター, 東京医大茨城医療センター, 牛久愛和総合病院, つくばセントラル病院	筑波大学附属病院, 筑波学園病院, 茨城県立中央病院, 水戸協同病院, 水戸済生会総合病院
内分泌代謝・糖尿病	日立総合病院, 牛久愛和総合病院	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 水戸協同病院
血液	日立総合病院, 牛久愛和総合病院, JAとりで総合医療センター	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 筑波記念病院, 水戸医療センター, 土浦協同病院
膠原病リウマチ	ひたちなか総合病院, 茨城西南医療センター病院, 牛久愛和総合病院	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 筑波学園病院, いちはら病院, 土浦協同病院, 水戸済生会総合病院
神経	ひたちなか総合病院, 日立総合病院, 龍ヶ崎済生会病院	筑波大学附属病院, 筑波記念病院, 水戸協同病院, 茨城県立中央病院
アレルギー (呼吸器または膠原病リウマチと並行して 研修)	ひたちなか総合病院, 龍ヶ崎済生会病院, 茨城東病院, JAとりで総合医療センター, 常陸大宮済生会病院, 東京医大茨城医療センター	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 霞ヶ浦医療センター, 筑波メディカルセンター病院, 水戸医療センター
感染症	日立総合病院	筑波大学附属病院, 茨城県立中央病院, 筑波メディカルセンター病院
腫瘍	未定	未定

水戸協同病院総合診療科（総合内科・総合診療科）：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

内科専門医、総合内科専門医、総合診療専門医、病院総合医、内科サブスペシャリティ、大学院博士をとる幅広いプログラムです。

研修環境

- ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。
- ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり、筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています。
- ・病院職員（常勤）として労務環境が保障されています。
- ・メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室があります。敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
- ・全国の院外研修先が選択でき、自分オリジナルなキャリア形成が可能です。
- ・全員に、専用の机・イス・インターネット回線（有線、Wi-Fi）があります。
- ・周辺は日本最高ランクのスーパー・グルメ地域

豊富な症例

専攻医1人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、上級医の判断で15～20名程度を受持ちます。サブスペシャリティ領域に関わらず、入院患者を主担当医として退院するまで受持ちます。

- ・日本内科学会内科専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本病院総合診療医学会認定医が取得可能です。
- ・あるシニアレジデントの研修記録（6ヶ月間、入院計159例）

糖尿病 35例、心不全 18例、腎不全 16例、肺癌 9例、胆道疾患 8例、肝硬変 7例、精神疾患 7例、狭心症 6例、肺炎 5例、尿路感染症 5例、イレウス 4例、関節リウマチ 4例、蜂窩織炎 4例、上部消化管出血 3例、間質性肺炎 3例、脳梗塞 3例、虚血性腸炎 3例、大腸癌 3例、他に髄膜炎、感染性心内膜炎、胃癌、クローン病、気管支喘息、サルコイドーシス、尿崩症、インスリンノーマ、シェーグレン症候群、強皮症、副腎不全、等々

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院 (総診Attending)	A/水戸協同病院 (総診Attending)	A/水戸協同病院 (総診Attending)	水戸協同病院 (総診Attending)		総合内科重点コース チーフレジデント制度あり
				内科専門医取得		病院総合診療専門医取得			(義務年限修了)		
ケース2	臨床研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院 (大学院所属)	A/水戸協同病院 (大学院所属)	A/水戸協同病院 (大学院所属)	A/水戸協同病院 (大学院所属)	水戸協同病院 (大学院所属)		筑波大学社会人博士コース(総合診療科、代謝内 分泌、循環器内科)
				内科専門医取得		病院総合診療専門医取得			医学博士取得 (義務年限修了)		
ケース3	臨床研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院 (代謝内分泌)	A/水戸協同病院 (代謝内分泌)	A/水戸協同病院 (代謝内分泌)	A/水戸協同病院 (代謝内分泌)	A/水戸協同病院 (代謝内分泌)	水戸協同病院 (代謝内分泌)		サブスペシャリティコース(代謝内分泌、循環器内科、 呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科)
				内科専門医取得		内科サブスペシャ			(義務年限修了)		
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A	A	A				総合内科重点コース 県外研修有り
				内科専門医取得		(義務年限修了)					

【総合内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院、高萩協同病院、ひたちなか総合病院、那珂記念クリニック、東京医科大学茨城医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	JA北海道厚生連帯広厚生病院、八戸市民病院、都立多摩総合医療センター、虎の門病院分院、川崎幸病院、帝京大学ちば総合医療センター、国際医療福祉大成田病院、埼玉医科大学総合医療センター、獨協医科大学埼玉医療センター、獨協医科大学病院、公立陶生病院、藤田医科大学病院、岡山大学病院、鳥根大学医学部附属病院、隠岐広域連立隠岐島前病院、麻生飯塚病院、長崎大学病院、沖縄協同病院、中頭病院、浦添総合病院、友愛医療センター、沖縄北部病院、福島県立医科大学会津医療センター附属病院、湘南鎌倉総合病院、国際医療福祉大学成田病院、鹿児島県立大島病院、HITO病院、日本海総合病院、耳原総合病院、東京女子医科大学病院、久米島病院

水戸済生会総合病院 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

当院が目指す医師像は、「疾患」ではなく、「患者さん」を総合的に診療できる能力を持つスペシャリスト(専門医)です。このため、当院の内科専門研修プログラムは、できるだけ早い時期にサブスペシャリティ領域の専門医資格を取得できるように配慮しています。具体的には、連携施設研修を早い時期に行い、サブスペシャリティ研修を組み込む「連動研修」を基本にローテーションを調整していきます。

また消化器内科、腎臓内科、循環器内科については、当院での研修のみでサブスペシャリティ専門医の受験資格が得られます。つまり、受験資格を満たすために（＝経験症例を確保するために）施設の異動を行う煩わしさがありません。じっくりと腰を据えて、技術の取得と経験症例数の確保に専念できる環境です。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修 (医師不足地域内)	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会	医師不足地域病院	水戸済生会総合病院
------	-------------------	-----------	----	-------	----------	-----------

義務年限修了

ケース2	臨床研修 (医師不足地域外)	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会	医師不足地域病院	水戸済生会
------	-------------------	-----------	----	-------	----------	-------

義務年限修了

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修 (医師不足地域内)	水戸済生会総合病院	水戸済生会	A1	水戸済生会	医師不足地域病院
------	-------------------	-----------	-------	----	-------	----------

義務年限修了

ケース2	臨床研修 (医師不足地域外)	水戸済生会総合病院	水戸済生会	A1	水戸済生会	医師不足地域病院
------	-------------------	-----------	-------	----	-------	----------

義務年限修了

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸済生会総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、茨城東病院、常陸大宮済生会病院、日立総合病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、水戸協同病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院、県立中央病院、水府病院、城南病院
C群病院群(県外・海外病院)	千葉大学医学部附属病院、日本大学医学部附属板橋病院、手稲溪仁会病院

水戸医療センター 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

特徴

- 1) 当院の内科は循環器内科(2名)・消化器内科(3名)・呼吸器内科(4名)・血液内科(5名)・神経内科(4名)の5つの編成です（指導医数）。これらの指導医の中にはアレルギー専門医(2名)・腎臓専門医(1名)・リウマチ専門医(1名)資格保持者もいます。
- 2) 専攻医の希望や状況について、個別に相談してそれぞれに合ったモデルコースを選択し、研修状況や希望に合わせて随時修正できるようにします。

研修例

臨床研修期間		内科専門研修期間			内科系 Subspecialty 専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①標準コース

臨床研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修		
			大学院進学		

②サブスペシャル領域直結コース

臨床研修	水戸医療センター／連携施設		サブスペシャル研修		
------	---------------	--	-----------	--	--

③茨城県修学生(向け)・地域医療重視コース

臨床研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修(筑波大プログラムなど※)		
------	----------	---------------	------------------------	--	--

(義務年限終了)

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	志村大宮病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
	水戸済生会病院、水戸赤十字病院、水府病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院、いわき病院

※ Subspecialty 専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

* 標準コース

1 年次			
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー (基幹施設)
2 年次			
消化器 (基幹施設)	代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	腎臓 (連携施設)
3 年次			
選択科① (連携施設)	選択科② (基幹・連携施設)	選択科③ (基幹・連携施設)	選択科④ (基幹・連携施設)

☆標準的な3年間で全コースをもれなくローテーションし、最終的に専攻科を決める

* サブスペシャル領域直結コース(消化器科専攻コース)

1 年次					
神経内科 (基幹施設)	血液内科 (基幹施設)	膠原病 (連携施設)	代謝内分泌 (連携施設)	腎臓 (連携施設)	循環器・救急 (基幹施設)
2 年次					
呼吸器 (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	補充研修(基幹・連携施設)			
3 年次					
消化器(基幹施設または大学病院を含む連携施設)					

☆1診療科が2ヶ月間の短期研修の場合、規定の症例数の経験ができないことを想定し、補充期間を設ける(当院12ヶ月+ α 、連携施設12ヶ月+ α)

* 茨城県修学生(向き)・地域医療重視コース

1 年次					
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	腎臓 (連携施設)
2 年次					
代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	地域(連携施設・特別連携施設)			補充研修 (基幹・連携施設)
3 年次					
地域(特別連携施設)			地域(連携施設)		

☆当院での研修が12ヶ月、連携施設での研修が24ヶ月

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群 (医師不足地域内中核病院)	志村大宮病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群 (医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、茨城県立中央病院、水戸協同病院 水戸済生会病院、水戸赤十字病院、水府病院
C群病院群 (県外・海外病院)	東北大学病院、いわき病院

茨城県立中央病院 内科専門研修プログラム(地域枠・一般修学生医師向け)

<特徴>

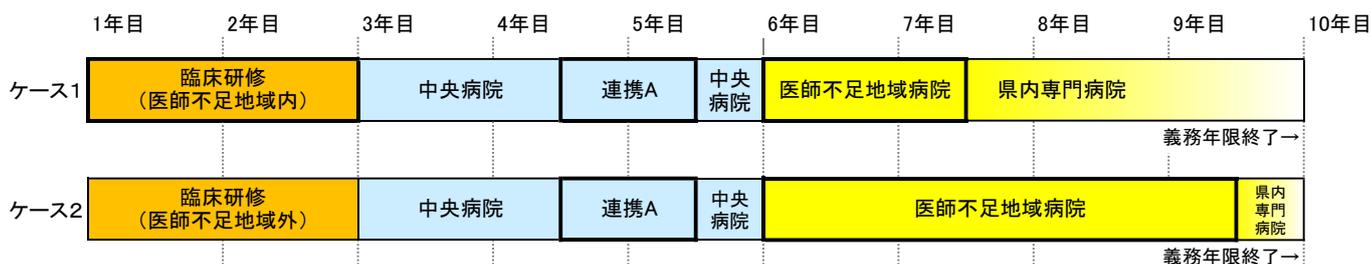
本プログラムは、茨城県水戸保健医療圏の中心的な急性期病院である茨城県立中央病院を基幹施設として、水戸保健医療圏、近隣医療圏および東京都にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を通して超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた柔軟性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。研修期間は基幹施設1-2年間と連携施設・特別連携施設1-2年間の合計3年間になります。

基幹施設である茨城県立中央病院は、水戸保健医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディゼーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
内科専門研修
サブスペシャルティ専門研修

(1)地域枠(義務年限9年間うち医師不足地域4.5年) ※太枠が医師不足地域



※5年目下期に連携施設での研修を希望する場合は、別途調整が必要となる

(2)一般修学(義務年限6年間を想定) ※太枠が医師不足地域および義務年限算入期間



※5年目下期に連携施設での研修を希望する場合は、別途調整が必要となる

【内科専門研修研修病院群】

	連携病院
A群病院群 (医師不足地域内病院)	東京医科大学茨城医療センター、ひたちなか総合病院、小山記念病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、常陸大宮済生会病院、白十字総合病院、神栖済生会病院、常陸大宮国民健康保険美和診療所(特別連携)
B群病院群 (医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院、筑波大学附属病院、水戸医療センター、総合病院水戸協同病院、水戸済生会総合病院、石岡第一病院、城里町国民健康保険七会診療所(特別連携)
C群病院群 (県外・海外病院)	日本赤十字社医療センター、東京女子医科大学病院

日立総合病院内科専門研修プログラム(地域枠、修学生用資料)

特徴

- 1)プログラムとして、内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの内科専門研修を支援します
- 2)内科専門研修からSubspecialty専門研修まで一貫した研修ができるプログラムです。
- 3)subspecialtyが決まっている場合は、3年目からsubspecialty専門研修に入ることも可能です
 - * 臨床研修中から積極的な症例登録を行うことを心がけてください。
 - * 連携施設での研修時期は変更可能。
 - * 専門医取得のために必要な場合は猶予制度を利用できる。
 - * 通算2年を超え医師不足地域以外で勤務する場合は医師不足地域派遣は4年間(一般修学資金制度は2年間)となる。

臨床研修期間		内科専門研修期間						内科系Subspecialty専門研修期間※							
1年目	2年目	3年目前半	3年目後半	4年目前半	4年目後半	5年目前半	5年目後半	6年目前半	6年目後半	7年目前半	7年目後半	8年目前半	8年目後半	9年目前半	9年目後半

(1)地域枠(義務年限9年間)

サブスベ重点 研修タイプ2年 型	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(サブスベ専門医取得)		(義務年限終了)				

日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。

サブスベ重点 研修タイプ1年 型	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(サブスベ専門医取得)		(義務年限終了)				

日立総合病院を中心に地域医療を経験しながら内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。

標準タイプ	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	日立総合病院	日立総合病院	A3	A3
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(サブスベ専門医取得)		(義務年限終了)				

特定診療科に偏らず、余裕を持って満遍なく内科研修を行います。

内科・サブスベ 混合タイプ	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(サブスベ専門医取得)		(義務年限終了)				

4年間やや余裕を持って内科研修を組み、サブスベ研修も行う。

	臨床研修(地域外)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(サブスベ専門医取得)		(義務年限終了)				

臨床研修を医師不足地域外で行った場合。

(2)一般修学(義務年限6年間)

内科標準タイプ	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(義務年限終了)		(サブスベ専門医取得)				

日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医取得をめざします

内科・サブスベ 混合タイプ	臨床研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	A2	A2	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(義務年限終了)		(サブスベ専門医取得)				

Subspecialty専門研修を大病院で行うことも可能です

ケース3	臨床研修(地域外)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	A2	A2	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設
	(病歴提出)						(内科専門医取得)		(義務年限終了)		(サブスベ専門医取得)				

臨床研修を医師不足地域外で行った場合、義務年限は2年延長します。

内科専門研修研修病院群

基幹病院	日立総合病院
A群病院群(医師不足地域内中核病院)	ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、日鉱記念病院、東海村立病院、東京医大茨城医療センター、鹿嶋ハートクリニック、神栖済生会病院、白十字総合病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院、東京大学附属病院、水戸協同病院、高萩協同病院
C群病院群(県外病院)	日本医科大学付属病院、多摩北部医療センター、同愛記念病院、横浜労災病院、東京都健康長寿医療センター、大阪公立大学医学部附属病院、神戸赤十字病院

ひたちなか総合病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 自由度が高いプログラムです。地域医療に貢献できる総合的な実力を持つ内科医を養成しますが、将来の大学院、海外留学にも対応可能です

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします。

臨床研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
内科・Subspecialty運動研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	備考
(1)地域枠(義務年限9年間)												
ケース1	臨床研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設	SP認定施設	A/B				臨床研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)6年目以降は、地域内外自由
ケース2	臨床研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	C 県外病院 (猪予)	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設	SP認定施設	A/B	A/B		内科専門研修期間中に半年間県外病院にて県内では学べない医療をする場合
ケース3	臨床研修(地域外) 内1年地域内で勤務	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設 (地域内)	SP認定施設	A/B				臨床研修で1年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)SP認定施設で1年地域内
ケース4	臨床研修(地域外)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設 (地域内)	SP認定施設 (地域内)	SP認定施設	A/B				臨床研修0年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)SP認定施設で2年地域内
ケース5	臨床研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設 (筑波大学)	海外留学 (猪予)	SP認定施設	SP認定施設	A/B			臨床研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、海外留学1年(猪予)を想定したケース
ケース6	臨床研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	筑波大学 (アカデミックレジデント)	大学院専従 (猪予)	大学院専従 (猪予)	SP認定施設	SP認定施設 (地域内)	A/B		臨床研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、筑波大学大学院進学し、大学院専従2年間(猪予)を想定したケース

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A	ひたちなか総合/A	SP認定施設 (地域内)							臨床研修後、内科専門研修で3年地域内(A群病院1年)、SP認定施設で1年間地域内
ケース2	臨床研修	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設 (地域外認定専門研修)	SP認定施設 (地域内0.5外0.5)						臨床研修後、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、SP認定施設で1.5年地域外(そのうち1年認定専門研修義務カウント)0.5年地域内
ケース3	臨床研修	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A	ひたちなか総合/A	SP認定施設 (地域内)	SP認定施設 (県外研修、猪予)						臨床研修後、内科専門研修で3年地域内(但しA群病院1年)、SP研修を県外のSP認定施設で1年(県外猪予)、地域内SP認定施設1年

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	ひたちなか総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、茨城東病院、常陸大宮済生会病院、友愛記念病院、村立東海病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院、県立中央病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	諏訪中央病院、東京科学大学病院、昭和大学病院、江東豊洲病院、横浜市北部病院、藤ヶ丘病院、島根県立中央病院

土浦協同病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

特徴

- 1) 東京科学大学、筑波大学と密接な関係をもち、最先端医療を含めた内科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 内科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 希望者には東京医科歯科大学の各専門内科領域講座に入局し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
- 6) 内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
〇〇科・Subspecialty運動研修

(1) 地域枠(義務年限9年間) 義務年限終了までのサポートを個別に対応 今後のキャリアにも個別の希望に応じて



(備考)
臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

臨床研修1年が地域内たすき、2年目が土浦協同or筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

臨床研修2年が土浦協同病院または筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

(2) 一般修学(義務年限6年間)



臨床研修2年の後すべて指定病院へ派遣 専門研修の猶予活用で義務1年延長

臨床研修の1年間を土浦協同or筑波大で、専門研修後猶予活用で義務修了が8年目

臨床研修の1年間を県外で行い、専門研修にも猶予活用で義務修了が9年目

臨床研修を県外で行い、専門研修後でも猶予活用するため義務修了が10年目

地域病院例は下記A群病院。今後さらに連携病院を増やしていく予定

地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能

Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院 ひたちなか総合病院 JAとりで総合医療センター 白十字総合病院 神栖済生会病院 県北医療センター高萩協同病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院 総合病院水戸協同病院 筑波記念病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院 柏市立柏病院 秀和総合病院 武蔵野赤十字病院 草加市立病院 JCHO東京山手メデイカルセンター 国立災害医療センター 東京都保健医療公社豊島病院 平塚共済病院 横浜南共済病院 横浜市立みなと赤十字病院 青梅市立総合病院 横須賀共済病院 都立大塚病院

東京医科大学茨城医療センター内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

専攻医本人の意思を尊重しながら、キャリア形成とワークライフバランスの両立を目指します

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科科専門研修
内科科系Subspecialty専門研修
内科科・Subspecialty運動研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	東京医大茨城医療センター	B1	東京医大茨城医療センター	東京医大茨城医療センター	B2	B3	B4	
					(内科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)		

当院を中心に、最短期間で内科およびsubspe専門医を取得するケース

ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	東京医大茨城医療センター	A1	A2	東京医大茨城医療センター	C1	B1	B2	東京医大茨城医療センター
					(内科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)			(義務年限修了)
						専門研修(猶予)			

地域医療を経験しながら、6年目から余裕を持ってsubspe研修を行うケース

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	東京医大茨城医療センター	B1	東京医大茨城医療センター	東京医大茨城医療センター				
			専門研修(県内)		(内科専門医取得)				(義務年限修了)

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	東京医大茨城医療センター	A1	東京医大茨城医療センター	C1	東京医大茨城医療センター			
			専門研修(県内)		(内科専門医取得)	(義務年限修了)			
					専門研修(猶予)				

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	東京医科大学茨城医療センター
A群病院群(医師不足地域内病院)	北茨城市民病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院、神栖済生会病院、牛久愛和総合病院、つくばセントラル病院、宮本病院(特別連携施設)、白十字総合病院(特別連携施設)
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、筑波記念病院、茨城県立中央病院、総合病院水戸協同病院、水戸済生会総合病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院

筑波記念病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

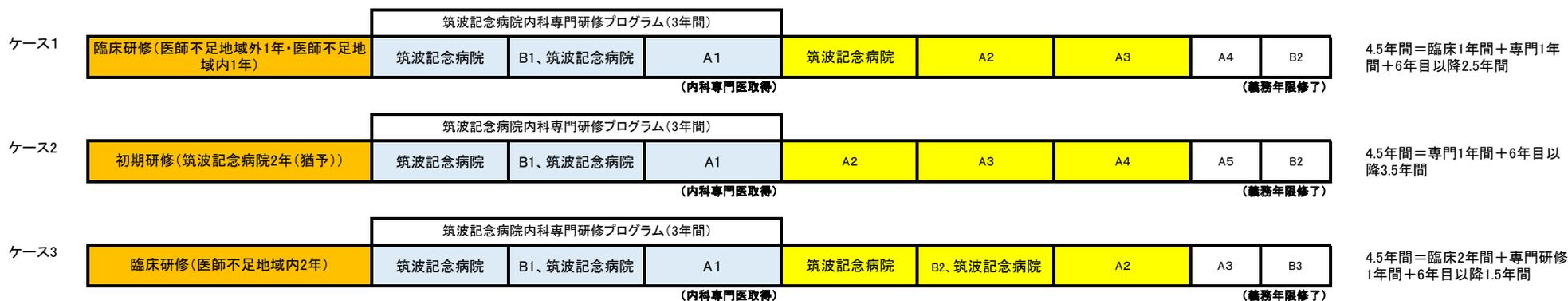
<特徴>

- ・内科系には循環器内科(指導医4名)、消化器内科(指導医4名)、血液内科(指導医4名)、呼吸器内科(指導医2名)、神経内科(指導医2名)があり、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能が修得できる。
- ・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション(リハ)機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
- ・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度な内科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



地域枠(義務年限9年間)



一般修学(義務年限6年間)



【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	東京医科大学茨城医療センター、龍ヶ崎済生会病院、協和中央病院、茨城東病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院、筑波総合クリニック、きぬ医師会病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京都立墨東病院、東京医科大学病院

牛久愛和総合病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 内科系指導医は、消化器内科(1名)、糖尿病・代謝内科(1名)、血液内科(1名)、腎臓内科(3名)、循環器内科(1名)、脳神経内科(1名)、呼吸器内科(1名)、リウマチ膠原病内科(1名)が在籍し
- 2) 当院を基幹病院として臨床研修、内科専門研修プログラムは自由度が高く、日々の診療における教育、指導はもちろん、研修医・専攻医レクチャー、クリニカルカンファレンスなどに力を入れてい
- 3) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人にメンターが寄り添いながら個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します。
- 4) 連携施設(下記4施設)は近隣医療圏にあり茨城県南地域の第一線の病院であり、コモンディジーズはもちろんより深く研修することができる。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
内科・Subspecialty運動研修

A群 医師不足地域内
B群 医師不足地域外
C群 県外・海外

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修	内科専門研修	内科・Subspecialty運動研修		Subspecialty 専門研修
		牛久愛和総合病院	連携施設	牛久愛和総合病院	
A群 医師不足地域内		A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	義務年限に合わせ適宜A群、B群を選択

内科専門医取得 サブスペ専門医取得 (義務年限修了)

ケース2	臨床研修	内科専門研修		内科 Subspecialty 運動研修	Subspecialty 専門研修
		牛久愛和総合病院	連携施設	牛久愛和総合病院	
B群 医師不足地域外		A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	義務年限に合わせ適宜A群、B群を選択

内科専門医取得 サブスペ専門医取得 (義務年限修了)

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修	内科専門研修	内科・Subspecialty運動研修	Subspecialty 専門研修
		牛久愛和総合病院	連携施設	牛久愛和総合病院
A群 医師不足地域内		A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内

内科専門医取得 サブスペ専門医取得 (義務年限修了)

ケース2	臨床研修	内科専門研修		内科 Subspecialty 運動研修	Subspecialty 専門研修
		牛久愛和総合病院	連携施設	牛久愛和総合病院	
B群 医師不足地域外		A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	義務年限に合わせ適宜A群、B群を選択

内科専門医取得 サブスペ専門医取得 (義務年限修了)

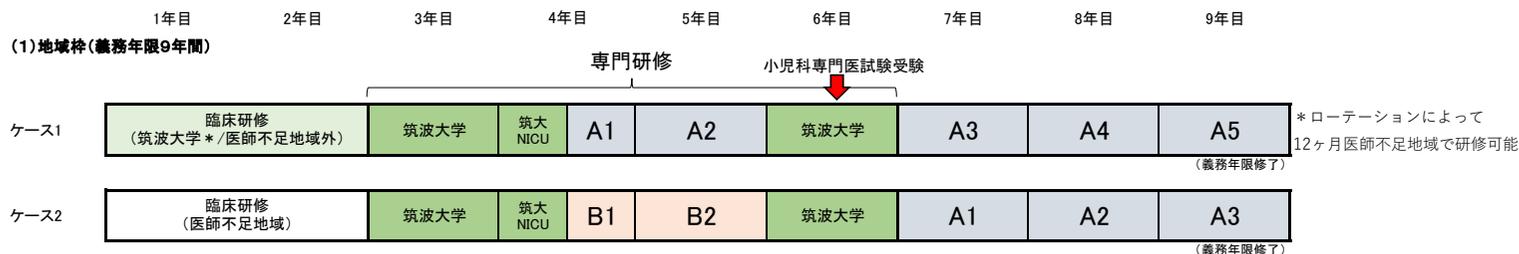
【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	牛久愛和総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	東京医科大学茨城医療センター、JAとりで総合医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	-

筑波大学附属病院 小児科専門研修プログラム(修学生医師)

<特徴>

- 1) 専門研修では新専門医制度基幹施設(筑波大学附属病院)の指定した連携施設または関連施設(A, B病院)で研修します。
これらの病院は全て茨城県地域医療対策協議会で策定された周産期医療体制を構成する施設およびその後方支援施設です。
 - 2) NICU(新生児集中治療室)は、6か月間の研修とし、筑波大学あるいは茨城県立こども病院で行います。
 - 3) 専門研修の4年目(もしくは3年目)は、原則として筑波大学附属病院でチーフレジデントとして下級研修医の指導にあたる予定です。
 - 4) 希望に応じて大学院進学、留学(海外・国内)、育児休業などの期間を設けることが可能です(猶予期間)。
- *筑波大学附属病院のアカデミックレジデント制度を利用している期間は義務履行期間に含まれます。



【小児科専門研修研修病院群】

A病院(医師不足地域病院): 茨城西南医療センター病院、茨城県西部メディカルセンター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、総合守谷第一病院、龍ヶ崎済生会病院、茨城県立医療大学附属病院、茨城東病院

B病院(医師不足地域外病院): 茨城県立こども病院、茨城福祉医療センター、筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院
※ 7~9年目では、水戸赤十字病院、霞ヶ浦医療センターも含まれます。

【特色】高度先進医療から小児科基礎知識まですべて習得!

- ・筑波大学の小児科研修プログラムは4年間です。論文作成から専門医受験の年まで指導体制がしっかりとしています。
- ・初期研修の小児科特別プログラム(4枠/年)では、初期から小児科に特化した研修を行うことが可能で、あなたのキャリアを早期からサポートします。

土浦協同病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 東京科学大学、筑波大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた小児科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 小児科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修
〇〇科・Subspecialty運動研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1) 地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内) 小児2ヶ月	土浦協同	土浦協同	A (小児科専門医取得)	土浦協同	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年) 小児2ヶ月	土浦協同	土浦協同	A (小児科専門医取得)	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		臨床研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
ケース3	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年) 小児2ヶ月	土浦協同	土浦協同	B (小児科専門医取得)	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	臨床研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
ケース4	臨床研修(土浦協同病院2年) 小児2ヶ月	土浦協同	土浦協同	B (小児科専門医取得)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	臨床研修2年間を土浦協同病院専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
(2) 一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内) 小児2ヶ月	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A (小児科専門医取得)	土浦協同(猶予)	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		臨床研修2年の後すべて指定病院へ派遣 猶予活用で3年の義務延長あり
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予)) 小児2ヶ月	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A (小児科専門医取得)	土浦協同(猶予)	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		臨床研修中にも猶予を活用することで義務年限が4年延長
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年) 小児2ヶ月	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A (小児科専門医取得)	医師不足地域内施設	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		臨床研修2年間を土浦協同病院初期・専門研修ともに猶予活用で義務年限が4年延長

【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	連携施設: JAとりで総合医療センター 関連施設: 茨城東病院、なめがた地域医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	連携施設: 筑波大学附属病院、茨城県立こども病院 関連施設: 愛正会記念茨城福祉医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	連携施設: 東京科学大学病院、草加市立病院、川口市立医療センター、練馬光が丘病院など 関連施設: はるたか会あおぞら診療所

3. 注意事項

- ・専門研修プログラム、サブスペシャルティプログラムは東京医科歯科大学と連携している。
- ・臨床研修・専門研修・サブスペシャルティ各段階プログラムをステップアップしていくことが可能。

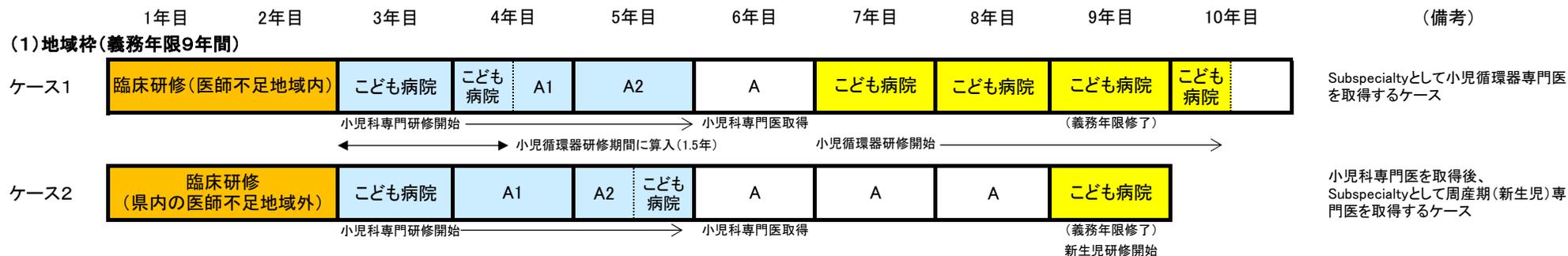
茨城県立こども病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け） [令和8年度]

<特徴>

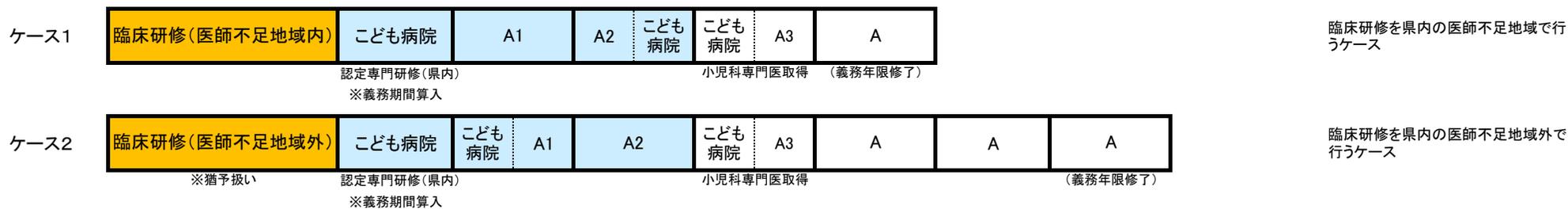
- ・小児科専門医取得後はSubspecialtyの確立を目指し、更なるステップアップのために指導・配慮します。
- ・すぐに臨床に活かせる、超音波検査研修に力を入れています。

<研修例> あくまで例であって、個別にアレンジします。

臨床研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修



(2) 一般修学資金(義務年限6年間) こども病院勤務の2年のうち1年は義務期間に算入可能



【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域外病院）	茨城県立こども病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	連携病院：日製日立総合病院、日製ひたちなか総合病院 関連病院：茨城県西部メディカルセンター、茨城東病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	連携病院：茨城福祉医療センター、水戸済生会総合病院、筑波大学附属病院 関連病院：茨城県立中央病院、土浦協同病院

筑波大学附属病院皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

大学および連携施設で経験豊かな多数の指導医のもとで、皮膚科全般について幅広くかつ高レベルの専門研修が出来ます。

県外施設でのサブスペシャリティー研修や大学院進学も、猶予期間を利用して推奨しています。

出産・育児、介護や配偶者の勤務地など個別の状況にあわせて、研修プログラムをアレンジしています。

充実した研修により実力ある皮膚科専門を育成するため、専門研修5年間でB群病院や筑波大学附属病院での研修を標準としており、猶予期間を活用することが一般的です。

<研修例> ※例示であり、個別にアレンジします。

臨床研修
皮膚科専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学 附属病院	A群病院①	A群病院①	B群病院①	筑波大学 附属病院	A群病院②	A群病院②			
									4月1日 専門医取得	(義務年限終了)	

ケース2	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学 附属病院	B群病院①	A群病院①	筑波大学 附属病院	A群病院②	A群病院②	A群病院③			
									4月1日 専門医取得	(義務年限終了)	

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学 附属病院	A群病院①	A群病院①	B群病院①	筑波大学 附属病院	A群病院②				
		認定専門研修(県内)							(義務年限終了)	4月1日 専門医取得	

ケース2	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学 附属病院	B群病院①	A群病院①	筑波大学 附属病院	A群病院②	A群病院②				
		認定専門研修(県内)							(義務年限終了)	4月1日 専門医取得	

【皮膚科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立製作所日立総合病院, 日立製作所ひたちなか総合病院, 東京医科大学茨城医療センター, 牛久愛和総合病院, 総合守谷第一病院, 西部メディカルセンター病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	水戸済生会総合病院, 水戸協同病院, 水戸赤十字病院, 茨城県立中央病院, 国立病院機構水戸医療センター, 土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	(oncologist研修)国立がん研究センター中央病院, 埼玉医科大学国際医療センター, がん研究会有明病院, (家庭の事情などにより可能)国立国際医療研究センター病院, 虎の門病院, 東京大, 東京女子医大, 東京女子医大足立医療センター

東京医科大学茨城医療センター皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修	基幹病院（医師不足地域）
皮膚科専門研修	A群 県外
	B群 大学院（研究）

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目

（備考）

（1）地域枠（義務年限9年間）

ケース1	臨床研修	皮膚科専門研修								
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース2	臨床研修	皮膚科専門研修								
	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース3	臨床研修	皮膚科専門研修								
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）						

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース4	臨床研修	皮膚科専門研修								
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	東京医科大学	東京医科大学	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	B群 大学院	B群 大学院	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

（1）一般修学生（義務年限6年間）

ケース1	臨床研修	皮膚科専門研修					
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース2	臨床研修	皮膚科専門研修					
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
	医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	

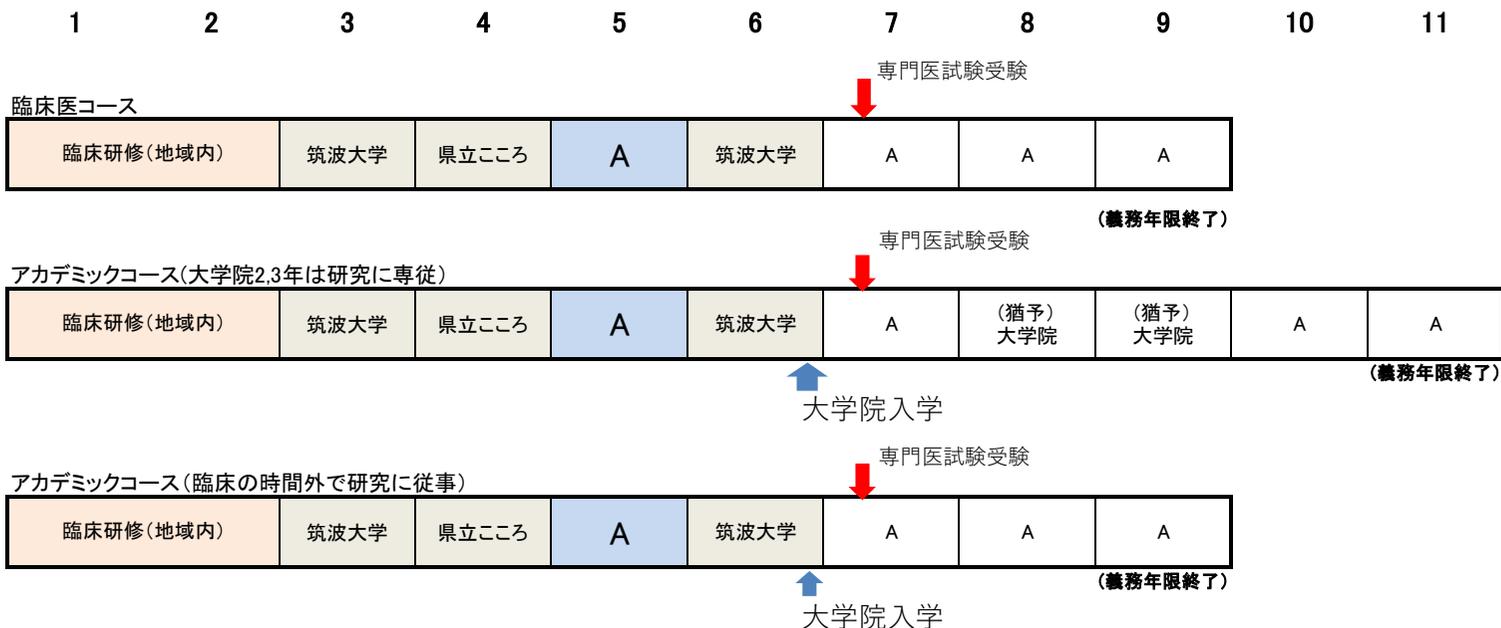
皮膚科専門医取得（義務年限修了）

【皮膚科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、新座志木中央総合病院、戸田中央総合病院、上尾中央総合病院
B群 大学院（研究）	東京医科大学

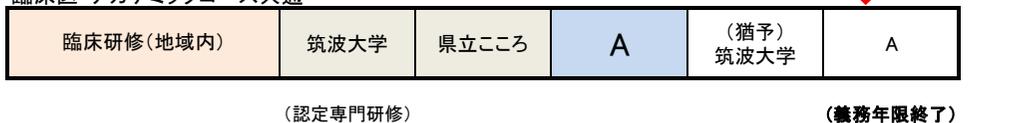
筑波大学附属病院 精神神経科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学

臨床医・アカデミックコース共通



A群:	大原神経科病院、鹿島病院、栗田病院、ホスピタル坂東、宮本病院
-----	--------------------------------

大学病院以外では、週1回、筑波大学において研究に従事する

*3~5年目の研修は、研修時期が前後する可能性がある
(例 3年目: 県立こころ、4年目: 筑波大)

3. 注意事項

1) 一般修学生医師は6年目が猶予扱いになり、7年目で医師地域不足病院の義務を履行する。

茨城県立こころの医療センター精神科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

- <特徴>
- ①スーパー救急病棟で精神科救急を日常的に研修できる
 - ②児童思春期、依存症、睡眠医療、災害精神医学、医療観察法など複数の専門領域を有する
 - ③筑波大学や地域型認知症疾患医療センターの精神科病院と連携した研修

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
精神科専門研修
精神科系Subspecialty専門研修
精神科・Subspecialty運動研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	県立こころ	県立こころ	A1/B1/B2	A1	A1	県立こころ	県立こころ
				<small>認定専門研修(県内)</small>	<small>(精神科専門医取得)</small>	<small>(Subspecialty専門医取得)</small>	<small>(義務年限修了)</small>	

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	県立こころ	県立こころ	A1	A1	A1/B1/B2	県立こころ	県立こころ
				<small>認定専門研修(県内)</small>	<small>(精神科専門医取得)</small>	<small>(Subspecialty専門医取得)</small>	<small>(義務年限修了)</small>	

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	県立こころ	A1	A1	A1	A1	県立こころ	県立こころ
			<small>認定専門研修(県内)</small>	<small>(精神科専門医取得)</small>	<small>(義務年限修了)</small>	<small>(Subspecialty専門医取得)</small>		

【精神科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こころの医療センター
A群病院群(医師不足地域内病院)	1: 栗田病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	1: 筑波大学附属病院3か月, 2: 石崎病院
C群病院群(県外・海外病院)	—

栗田病院 精神科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします <特徴>

臨床研修
精神科専門研修
精神科系Subspecialty専門研修

- ①精神科急性期治療、認知症治療、慢性期の退院支援など総合的に研修できる施設。
- ②将来的にクリニック開業やメンタルヘルス産業医の志向を持つ修学生にも対応。
- ③筑波大学やこころの医療センターと連携し、様々な病態の経験につながり、県内精神科医師と連携ができる。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)										
ケース1	臨床研修 (医師不足地域内・外)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院	栗田病院	栗田病院	栗田病院	栗田病院	4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		サブスペシャリティ専門医取得 (日本認知症学会専門医など) (義務年限修了)			
ケース2	臨床研修 (医師不足地域内・外)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得	サブスペシャリティ専門医取得 (日本認知症学会専門医など) (義務年限修了)			
ケース3	臨床研修 (医師不足地域内・外)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院 B1	栗田病院 B1	栗田病院 B1	栗田病院 B1	栗田病院 B1	4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得	サブスペシャリティ専門医取得 (日本認知症学会専門医など) (義務年限修了)			

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修 (医師不足地域内)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院					4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 (義務年限修了)					
ケース2	臨床研修 (医師不足地域内)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院 産業医					4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 (義務年限修了)				
ケース3	臨床研修 (医師不足地域内)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院 B1					4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 (義務年限修了)				
ケース4	臨床研修 (医師不足地域外)	栗田病院	栗田病院 B1・B2	栗田病院 B1・B3	栗田病院 B1	栗田病院 B1	栗田病院 B1			4～5年目研修は、研修先(B1、A2)の入れ替えの可能性あり
					日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		(義務年限修了)			

【精神科専門研修研修病院群】

基幹病院	医療法人社団有朋会栗田病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	
B群病院群(医師不足地域外病院)	1. こころのクリニック水戸 2. 筑波大学附属病院(3ヶ月) 3. 茨城県立こころの医療センター(3か月)
C群病院群(県外・海外病院)	—

筑波大学附属病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

「伝統校」「名門校」の称号よりも、新しい、開かれた「先端校」「先進校」の理念を選んだ筑波大学の「Imagine the future」のスローガンの元、グローバル社会に開かれた環境で行われる「未来へのフロントランナー」としての外科医の養成を目指します。
年間12000件を超える豊富な症例数を誇る病院群を形成し、規定数をはるかに超える多くの症例の経験を提供します。
「研修医は黙ってみている」といった以前の権威主義的な外科教育は微塵もなく、専攻医を中心に据えた外科臨床を行っています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別に相談して決定します

外科専門医資格を取得するまでの3年(または4年)の内、1年6ヶ月は基幹病院である筑波大学附属病院外科で研修を行う。
専門以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認める。
大学院進学は、外科専門医取得後早期と、サブスペシャリティー外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事が出来る。
早期に大学院に進学した場合、その後サブスペシャリティー外科専門医資格を取得する臨床研修を行う。

(1) 地域枠(義務年限9年間)

基幹病院 Ba
A群病院群(医師不足地域内病院)
B群病院群(医師不足地域外病院)
C群病院群(県外・海外病院)

茨城県内(A、B 筑波大)で9年の義務 そのうち4.5年は医師不足地域(A群)で研修、県外または海外での研修期間 大学院進学時は猶予期間となる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目		
ケース1-1	臨床研修(医師不足地域内2年)	Ba	A(6ヵ月)	A	A	Ba	BまたはBa	BまたはBa	BまたはBa	医師不足地域での研修を早期に終える場合	
						(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)			
ケース1-2	臨床研修(医師不足地域内2年)	A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	BまたはBa	A	BまたはBa	5-6年目に猶予期間を活用し県外での研修を行う場合	
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)				
					認定専門研修(猶予)						
ケース2-1	臨床研修(医師不足地域内1年・ 医師不足地域外1年)	Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	大学院	A	BまたはBa	A	BまたはBa	外科専門医取得後大学院(4年)に進学する場合
						(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)			
					認定専門研修(猶予)						
ケース2-2	臨床研修(医師不足地域内1年・ 医師不足地域外1年)	A(6ヵ月)	Ba	A	Ba	A	BまたはBa	A	BまたはBa	医師不足地域と医師不足地域外での研修を交互に行う場合	
						(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)			
ケース3-1	臨床研修(医師不足地域外2年)	Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	A	A	BまたはBa	A	基幹施設での研修の後 医師不足地域での研修を行う場合	
						(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)			
ケース3-2	臨床研修(医師不足地域外2年)	A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	A	A	BまたはBa	A	基幹施設での研修後県外等で研修を3年行う場合
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)				

*県外または海外での研修の場合 3年を目安に猶予期間とできる

*大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる

(2)一般修学(義務年限6年間)

基幹病院 Ba
A群病院群(医師不足地域内病院)
B群病院群(医師不足地域外病院)
C群病院群(県外・海外病院)

茨城県内医師不足地域(A群)での研修 6年の義務
 県内医師不足地域外(B群)での研修1年は義務機関に参入可(1年以内)
 県外または海外での研修期間 大学院進学時は猶予期間
 最終年は6か月で義務年限終了とできる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
ケース1-1	臨床研修(医師不足地域内2年)	Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	A	A					
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)					
ケース1-2	臨床研修(医師不足地域内2年)	A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	A	A				
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	認定専門研修(猶予)					
ケース2-1	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	大学院	A	A	A			
					(外科専門医取得)	認定専門研修(猶予)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)				
ケース2-2	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	A(6ヵ月)	Ba	A	Ba	A	BまたはBa	A	BまたはBa	A		
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)					
ケース3-1	臨床研修(医師不足地域外2年)	Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	A	A	A	A			
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)					
ケース3-2	臨床研修(医師不足地域外2年)	A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	A	A	BまたはBa	A		
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限終了)					

筑波大での研修1年分を義務期間に算入

5年目に猶予期間を活用し県外での研修を行う場合

外科専門医取得後大学院(4年)に進学する場合

医師不足地域と医師不足地域外での研修を交互に行う場合

基幹施設での研修の後 医師不足地域での研修を行う場合

基幹施設での研修後県外等で研修を1年行う場合

- *県外または海外での研修の場合 1年を目安に猶予期間とできる
- *大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる
- *県内医師不足地域外での研修は1年を義務期間に算入可

【消化器外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製ひたちなか総合病院、日製日立総合病院、友愛記念病院、茨城西南医療センター病院、高萩協同病院、総合守谷第一病院、つくばセントラル病院、龍ヶ崎済生会病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	国立霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院、水戸協同病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸中央病院、など
C群病院群(県外・海外病院)	国立がん研究センター東病院、聖隷佐倉市民病院、埼玉県立がんセンターなど

【心臓血管外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製日立総合病院 例外的措置(水戸済生会総合病院):医師不足地域での研修とカウント
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波メディカルセンター、茨城県立中央病院、茨城県立こども病院など
C群病院群(県外・海外病院)	東京都立小児総合医療センター、心臓病センター榊原病院、国立成育医療研究センター、埼玉医大国際医療センター、中京病院など

【呼吸器外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製日立総合病院、茨城東病院、日製ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター病院など 例外的措置(茨城県立中央病院):医師不足地域での研修とカウント
B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院、水戸協同病院、国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院など
C群病院群(県外・海外病院)	自治医科大学病院・がん研有明病院など

【小児外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	JAとりで総合医療センターなど 例外的措置(茨城県立こども病院):医師不足地域での研修とカウント
B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院、茨城県立中央病院、など
C群病院群(県外・海外病院)	埼玉県立小児医療センター、竹田総合病院など

【乳腺甲状腺内分泌外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製日立総合病院、茨城西南医療センター病院、つくばセントラル病院、牛尾病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院、筑波メディカルセンター、国立霞ヶ浦医療センター、水戸協同病院、茨城県立中央病院、国立水戸医療センター、水戸赤十字病院など
C群病院群(県外・海外病院)	なし

水戸医療センター 外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

研修例

臨床研修期間		外科専門研修期間			Subspecialty 専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①連携施設研修先行コース

臨床研修	連携施設 A	水戸医療センター	サブスペシャル研修	
------	--------	----------	-----------	--

②基幹施設研修先行コース

臨床研修	水戸医療センター	連携施設 A/C	サブスペシャル研修	
------	----------	----------	-----------	--

③サブ領域展開コース

臨床研修	水戸医療センター	連携施設 A	サブスペシャル研修	
------	----------	--------	-----------	--

④茨城県地域特化研修コース

臨床研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設 A	サブスペシャル研修	A
------	----------	-----------------	-----------	---

(義務年限終了)

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、常陸大宮済生会病院、小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	水戸協同病院、茨城県立こども病院、水府病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

※Subspecialty 専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

☆C群に東北大学病院の記載がありますが、地域枠修学生は、県外での研修は義務の消化にならず、猶予扱い（その分義務が伸びる）となります。

研修モデル

①連携施設研修先行コース

1～2年次に連携施設で研修を行い、3年次以降、基幹施設で研修を行う

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 A
コース2	連携施設 A		水戸医療センター
コース3	連携施設 A		水戸医療センター

②基幹施設研修先行コース

研修1年次に水戸医療センターでの研修を6～12ヶ月間行い、2年次以降連携施設での研修を行う

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	水戸医療センター	連携施設 A	
コース3	水戸医療センター	連携施設 A	連携施設 C
コース4	水戸医療センター	連携施設 C	連携施設 A

③サブ領域展開コース

研修1年次からサブスペシャリティを見据えて研修

コース	1年次	2年次	3年次
	水戸医療センター		連携施設 A 水戸医療センター

④茨城県地域特化研修コース

茨城県地域医療医師修学資金貸与者は連携施設より「指定施設」を選択した研修が可能

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 A
コース2	連携施設 A		水戸医療センター
コース3	水戸医療センター	連携施設 A	

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、常陸大宮済生会病院、小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	水戸協同病院、茨城県立こども病院、水府病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

茨城県立中央病院 外科専門研修プログラム(地域枠・一般修学生医師向け)

<特徴>

茨城県内での外科専門研修を希望する医師(特に、茨城県修学生をはじめ県内での義務年限などを有する医師など)において、幅広く十分な外科専門研修を行う中で、同時に医師不足地域などでの医療研修をともに行うことが出来るように配慮している。また、それ以後の選択(サブスペシャリティ領域外科専門研修、大学院進学など)にも対応出来るようにプログラム開始時に個別のプログラムを計画する柔軟性を有している。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
外科専門研修
サブスペシャリティ専門研修

(1)地域枠(義務年限9年間うち医師不足地域4.5年) ※太枠が医師不足地域

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
ケース1	臨床研修 (医師不足地域内)	消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠		医師不足地域病院	県内専門病院
中央病院			(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携A	中央病院				
ケース2	臨床研修 (医師不足地域内)	消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠		医師不足地域病院	県内専門病院
中央病院			(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携B	中央病院				
ケース3	臨床研修 (医師不足地域外)	消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠		医師不足地域病院	
中央病院			(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携A	中央病院				
ケース4	臨床研修 (医師不足地域外)	消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠		医師不足地域病院	
中央病院			(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携B	中央病院				

義務年限終了(半年延長)→

※ 臨床研修として、原則内科を中心に研修 / 外科専攻希望者は、自由選択で外科系各科をローテートし、手術症例を経験することも可能(経験症例を外科専門プログラムへ積算可)

※ 院外研修・勤務施設については相談可

※ 義務年限終了後、領域専門医など臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

※ 院外研修期間は最大1年間までの延長について相談可

(2)一般修学(義務年限6年間を想定) ※太枠が医師不足地域および義務年限算入期間

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
ケース1 臨床研修 (医師不足地域内)			消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠	医師不足地域病院	
			中央病院		(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携A	中央病院		
		← 義務期間算入 →							義務年限終了(1.5年延長)→		
ケース2 臨床研修 (医師不足地域内)			消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠	医師不足地域病院	
			中央病院		(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携B	中央病院		
		← 義務期間算入 →							義務年限終了(2年延長)→		
ケース3 臨床研修 (大学病院)※猶予			消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠	医師不足地域病院	
			中央病院		(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携A	中央病院		
	← 猶予期間 →	← 義務期間算入 →							義務年限終了(3.5年延長)→		
ケース4 臨床研修 (大学病院)※猶予			消化器外科 (血管外科含む)	呼吸器外科	循環器外科	小児外科	自由希望枠	院外研修	自由希望枠	医師不足地域病院	
			中央病院		(水戸済生会 総合病院)	こども病院	中央病院	連携B	中央病院		
	← 猶予期間 →	← 義務期間算入 →							義務年限終了(4年延長)→		

※ 臨床研修として、原則内科を中心に研修 / 外科専攻希望者は、自由選択で外科系各科をローテートし、手術症例を経験することも可能(経験症例を外科専門プログラムへ積算可)

※ 院外研修・勤務施設については相談可

※ 義務年限終了後、領域専門医など臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

※ 院外研修期間は最大1年間までの延長について相談可

【外科専門研修研修病院群】

	連携病院
A群病院群 (医師不足地域内病院)	常陸大宮済生会病院, 日立製作所ひたちなか総合病院, 北茨城市民病院
B群病院群 (医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院, 茨城県立こども病院, 総合病院水戸協同病院, 水戸済生会総合病院
C群病院群 (県外・海外病院)	—

日立総合病院外科専門研修プログラム(地域枠、修学生用資料)

特徴

- 1)プログラムとして、経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの外科専門研修を支援します。
- 2)救命センターもあり、幅広く様々な外科系疾患を経験できます。

	臨床研修期間		外科専門研修期間			外科系Subspecialty専門研修期間				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
(1)地域枠(義務年限9年間)										
ケース1	臨床研修(地域内)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
			4月～9月	10月～3月						
			(外科専門医取得)						(義務年限終了)	
ケース2	臨床研修(地域内)		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	ひたちなか総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
			4月～9月	10月～3月						
			(外科専門医取得)						(義務年限終了)	
(2)一般修学(義務年限6年間)										
ケース1	臨床研修(地域内)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	日立総合病院	
ケース2	臨床研修(大学病院)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	

注1 : ひたちなか総合病院での研修は3年目または5年目とし、希望により1年間とすることも可能です。

注2 : 外科系Subspecialty専門研修期間は、6年目以降の医師不足地域内中小病院研修機関で希望するSubspecialty専門医取得の要件となる症例有無および症例件数により、Subspecialty専門医取得年が異なります。

- ①消化器外科 : 7～10年目で取得
- ②呼吸器外科 : 9～10年目で取得
- ③乳腺外科 : 7～10年目で取得
- ④心臓血管外科 : 8～10年目で取得

注3 : Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が提示された後、各subspecialty学会認定の医師不足地域内中小病院を追加する予定です。

土浦協同病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1)最先端医療を含めた外科研修が可能
- 2)経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3)外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4)研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
外科専門研修
外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	土浦協同病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院 (外科専門医取得)	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院	地域病院		臨床研修の後すべて指定病院へ派遣
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院	地域病院		臨床研修1年目に地域内たすぎ、2年目が土浦協同
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院	地域病院	地域病院		臨床研修2年間に土浦協同病院
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院 (義務期間算入)	土浦協同病院 (猶予)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院 (外科専門医取得)	地域病院	地域病院					臨床研修の後すべて指定病院へ派遣 猶予1年活用で義務延長あり
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院 (義務期間算入)	土浦協同病院 (猶予)	地域病院	地域病院	地域病院				臨床研修1年目に地域内たすぎ、2年目が土浦協同 専門研修で猶予1年活用のため義務延長あり
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年(猶予))	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院 (義務期間算入)	地域病院	地域病院	地域病院				臨床研修2年間に土浦協同病院のため、 猶予活用で義務延長あり

【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、友愛記念病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	—
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院

筑波記念病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・外科系には心臓血管外科(指導医3名)、消化器外科(指導医4名)、呼吸器外科(指導医2名)があり、標準的かつ全人的な外科的医療の実践に必要な知識と技能が修得できる。
- ・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション(リハ)機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
- ・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度な外科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



地域枠(義務年限9年間)



一般修学(義務年限6年間)



【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	小豆畑病院、川崎病院、北茨城市民病院、東京医科大学茨城医療センター、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック
B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立こども病院
C群病院群(県外・海外病院)	自治医科大学附属さいたま医療センター、東京医科大学病院

筑波大学附属病院 整形外科専門医プログラム

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	
		初期研修医		後期研修医:筑波大学附属病院レジデント				クリニカルフェロー							
医師修学 資金貸与 6年	貸与期間1-3年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	B群(or C群)	B群(or C群)	←4年目終了							
	貸与期間4年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	B群(or C群)	←5年目終了							
	貸与期間5年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	A群	←6年目終了							
	貸与期間6年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	←終了				
地域枠 制度 9年	初期研修:県内2年	初期研修:A群1年半以上	A群	筑波大学	A群	A群	A群(or B群)	A群	筑波大学	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了			
	初期研修:県内1年	初期研修:A群1年	筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群(or B群)	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了		
	初期研修:県外	初期研修:県外	筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群	A群(or B群)	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了	
	大学院希望	初期研修:県内2年	A群	筑波大学	A群	A群	A群	筑波大学	A群	大学院進学(猶予期間)			A群	A群(or B群)	←終了

↑ 専門医試験

↑ レジデント終了

- * 整形外科専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 それ以外に、7年目に大学でのクリニカルフェロー(チーフレジデント)
- * どのケースでも、県外での研修・大学院を希望した場合は、猶予期間を設けて柔軟に対応する
- * 留学を希望する場合は、大学院入学後とし、猶予期間を設けて柔軟に対応する

A群	医師不足地域内病院	ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター、高萩協同病院、県西部メディカルセンター、結城病院、小山記念病院、アントラーズスポーツクリニック、取手医師会病院、牛久愛和総合病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立医療大学、総合守谷第一病院
B群	医師不足地域外病院	筑波大学、いちほら病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、筑波学園病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、県立こども病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、霞ヶ浦医療センター、きぬ医師会病院
C群	県外病院	キッコーマン総合病院、松戸市立病院、船橋整形外科、公立昭和病院、新東京病院、国立精神神経医療研究センター、都立墨東病院高度救命救急センター、千葉こどもとおとなの整形外科、聖隷佐倉市民病院

水戸協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 二次救急病院として地域の中核病院としての目覚を持ち、地域のかかりつけ医の先生方と連携をとり、それぞれの役割のなかで総合的に医療を進めるようにしています。外傷患者さまは救急部と連携し積極的な受け入れを行っております。また近年増加傾向にある合併症の多い患者さまに対しても、内科をはじめとした他科との連携のもと、集学的に治療に当たっております。治療にあたっては、手術のみではなく、適切な保存治療も行ってあり、またリハビリテーション部と密接に連携することで、より高いレベルでの早期離床、早期復帰を目指しております。

整形外科的疾患のすべてを診療していますが、それぞれの専門分野の診療にも力を入れ、より高度な医療の提供に努めています。
 上肢：肩関節周囲炎、変形性肘関節症、手根管症候群、関節リウマチなど
 脊椎：頸椎性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど
 関節：変形性関節症、関節リウマチなど
 スポーツ：疲労骨折、肩関節脱臼、野球肘、靭帯断裂、半月断裂など

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	A/筑波大学	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	水戸協同病院	水戸協同病院
------	---------------	--------	----------	----------	----------	----------	--------	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 (義務年限修了)

ケース2	臨床研修(医師不足地域内)	A/筑波大学	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/筑波大学	大学院進学	大学院進学	B	水戸協同病院
------	---------------	--------	----------	----------	----------	--------	-------	-------	---	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 (義務年限修了)

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	A/筑波大学	A/水戸協同病院						
------	---------------	--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 (義務年限修了)

ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	A/筑波大学	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A/水戸協同病院	A	A	A
------	---------------------------	--------	----------	----------	----------	---	---	---

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 (義務年限修了)

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター病院、高萩協同病院、なめがた地域総合病院、茨城県西部メディカルセンター、茨城県立医療大学
B群病院群(医師不足地域外病院)	水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、筑波大学
C群病院群(県外・海外病院)	—

土浦協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 東京科学大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係を持ち、最先端医療を含めた整形外科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 整形外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1) 地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	県外(猶予)	地域内	土浦協同病院	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内	地域内	臨床研修2年の後すべて指定病院。 1年猶予活用で義務期間延長あり
					(専門医取得)					(義務年限修了)	
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内	地域内	臨床研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 1年猶予活用で義務期間延長あり
					(専門医取得)					(義務年限修了)	
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同	地域内	地域内	地域内	地域内	地域内	臨床研修2年間に土浦協同病院 1年猶予活用で義務期間延長あり
					(専門医取得)					(義務年限修了)	
(2) 一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	地域内	県外(猶予)	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内					臨床研修2年の後すべて指定病院。 1年猶予活用で義務期間延長あり
					(専門医取得)	(義務年限修了)					
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内	地域内				臨床研修中の土浦協同と専門研修中の県外の 猶予活用で義務年限が2年延長
					(専門医取得)	(義務年限修了)					
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内	地域内	地域内			臨床研修2年間の土浦協同と専門研修中の県外 1年猶予活用で義務年限が3年延長
					(専門医取得)	(義務年限修了)					

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	JAとりで総合医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	北水会記念病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院、がん研究会有明病院、九段坂病院、日産厚生会玉川病院、草加市立病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、新渡戸記念中野総合病院、同愛記念病院、練馬総合病院

※ 地域内病院研修中は週1回の研修を土浦協同病院で行うことが可能

筑波大学附属病院産婦人科:キャリア形成プログラム(修学生医師向け)

<特徴>

- 3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等あるいは医師不足地域内に派遣する。
- 下記プランは一例を示したものであり、具体的な派遣先はキャリア形成の視点や政策的な優先課題を踏まえ地域医療対策協議会の審議等を経て決定される。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	【産婦人科専門研修病院群】 ①総合周産期母子医療センター、②地域周産期母子医療センター、③周産期救急医療協力病院、④その他必要と認められる病院
産婦人科専門研修	
周産期専門医研修	
婦人科腫瘍専門医研修	
生殖医療専門医研修	
女性医学専門医研修	地域において中核的な役割を担う医療機関

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1: サブスペシャリティとして周産期専門医を想定	初期研修	筑波学園病院	筑波大学	茨城西南医療センター病院	茨城西南医療センター病院	筑波大学	水戸済生会総合病院	小山記念病院
	初期研修は医師不足地域内		7月産婦人科専門医試験			10月周産期専門医試験 (義務年限修了)		
ケース2: サブスペシャリティとして周産期専門医を想定	初期研修	日立総合病院	筑波大学*	龍ヶ崎済生会病院	龍ヶ崎済生会病院	筑波大学	茨城西南医療センター病院	茨城西南医療センター病院
	初期研修は医師不足地域外		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	
ケース3: サブスペシャリティとして婦人科腫瘍専門医を想定	初期研修	筑波大学*	茨城県立中央病院	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	筑波大学	日立総合病院
	初期研修は医師不足地域内		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	
ケース4: サブスペシャリティとして婦人科腫瘍専門医を想定	初期研修	筑波大学*	茨城西南医療センター病院	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	筑波大学	日立総合病院
	初期研修は医師不足地域外		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1: サブスペシャリティとして周産期専門医を想定	初期研修	日立総合病院	筑波大学	茨城西南医療センター病院	茨城西南医療センター病院	水戸済生会総合病院	筑波大学	
	初期研修は医師不足地域内		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	
ケース2: サブスペシャリティとして周産期専門医を想定	初期研修	日立総合病院	筑波大学*	茨城西南医療センター病院	茨城西南医療センター病院	筑波大学	小山記念病院	小山記念病院
	初期研修は医師不足地域外		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	
ケース3: サブスペシャリティとして婦人科腫瘍専門医を想定	初期研修	筑波大学*	霞ヶ浦医療センター	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	茨城県立中央病院	
	初期研修は医師不足地域内		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	
ケース4: サブスペシャリティとして婦人科腫瘍専門医を想定	初期研修	筑波大学*	茨城西南医療センター病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	日立総合病院
	初期研修は医師不足地域外		*筑波学園病院で3ヶ月間の生殖医療研修		7月産婦人科専門医試験		10月周産期専門医試験 (義務年限修了)	

土浦協同病院産婦人科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 多くの連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた産婦人科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 産婦人科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
産婦人科専門研修
産婦人科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1) 地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	高萩協同病院	小山記念病院	土浦協同病院	JAとりで	土浦協同病院	高萩協同病院			臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)				(義務年限終了)			
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	土浦協同病院	高萩協同病院	小山記念病院	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院			臨床研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)				(義務年限終了)			
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年)	土浦協同病院	高萩協同病院	小山記念病院	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院			臨床研修2年を土浦協同病院で行う
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)				(義務年限終了)			

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院(義務期間算入)	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					臨床研修2年の後4年間すべて指定病院へ派遣
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)	(義務年限終了)						
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	土浦協同病院(義務期間算入)	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院 周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					臨床研修2年目が土浦協同のため、義務年限1年の延長あり
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)	(義務年限終了)						
ケース3	臨床研修(土浦協同病院2年)	土浦協同病院(義務期間算入)	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院 周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					臨床研修2年を土浦協同病院のため、猶予活用で義務延長あり
		(内3ヶ月、筑波学園にて産婦人科研修)		(専門医取得)	(義務年限終了)						

【産婦人科専門研修研修病院群】

基幹病院	総合病院土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	県北医療センター高萩協同病院 小山記念病院 白十字総合病院 JAとりで総合医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院
C群病院群(県外・海外病院)	田園都市レディースクリニック 東京科学大学病院

注意事項

- 1) 3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等に派遣する(下記派遣対象医療機関参照)
- 2) 上記のプランは一例であり、各自のキャリア形成プランに基づき政策的優先課題を踏まえた上で地域医療対策協議会周産期医療部会などと協議し派遣病院を決定する。
- 3) 下記の病院が当プログラムで現在派遣可能な対象医療機関である。
 1. 総合周産期母子医療センター 土浦協同病院
 2. 地域周産期母子医療センター JAとりで総合医療センター
 3. 周産期救急医療協力病院 筑波学園病院 小山記念病院
 4. その他必要と認められる病院 県北医療センター高萩協同病院

筑波大学附属病院眼科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・3年目または4年目のいずれかは認定専門研修機関である筑波大学での研修となります。
- ・A群病院、B群病院ともに豊富な経験を持つ指導医が研修を支援します。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
眼科専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠（義務年限9年間）

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学	A群病院	B群病院	筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	
		(認定専門研修)				専門医試験受験		(義務年限終了)	

ケース2	臨床研修(医師不足地域外)	筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	筑波大学	A群病院	A群病院	
		(認定専門研修)				専門医試験受験		(義務年限終了)	

(2) 一般修学（義務年限6年間）

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	A群病院	
		(認定専門研修)			(義務年限終了)	専門医試験受験	

ケース2	臨床研修(医師不足地域外)	筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	A群病院	B群病院	A群病院	
		(認定専門研修)				専門医試験受験		(義務年限終了)	

【眼科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立総合病院、茨城西南医療センター病院、県西部メディカルセンター、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル病院、牛久愛和総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波学園病院、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター、筑波記念病院、きぬ医師会病院、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、茨城県立中央病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター
C群病院群（県外・海外病院）	宮田眼科病院

東京医科大学茨城医療センター眼科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修	基幹病院（医師不足地域）
眼科専門研修	A群（県内医師不足地域内）
	B群（県内医師不足地域外）
	C群 県外

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 (備考)

(1) 地域枠（義務年限9年間）

ケース1	臨床研修	眼科専門研修								
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	C群 県外	基幹病院（医師不足地域）							
									眼科専門医取得	(義務年限修了)

ケース1	臨床研修	眼科専門研修								
	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設
	基幹病院（医師不足地域）	C群 県外	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域内）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域外）	B群（県内医師不足地域外）	
									眼科専門医取得	(義務年限修了)

ケース3	臨床研修	眼科専門研修									
	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	
	医師不足地域外	C群 県外	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域内）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域外）	A群（県内医師不足地域内）	A群（県内医師不足地域内）	
										眼科専門医取得	
										(義務年限修了)	

(2) 一般修学生（義務年限6年間）

ケース1	臨床研修	眼科専門研修				
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	C群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）
						眼科専門医取得
						(義務年限修了)

ケース2	臨床研修	眼科専門研修								
	連携施設	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	医師不足地域外	C群 県外	C群 県外	B群（県内医師不足地域内）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）
										眼科専門医取得
										(義務年限修了)

【眼科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群（県内 医師不足地域内）	今後追加予定
B群（県内 医師不足地域外）	今後追加予定
C群（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院、厚生中央病院

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 各研修病院に経験豊富な指導医・専門医を擁しており、個々に合わせたキャリアを支援します
- 2) 耳鼻咽喉科専門医取得までは、耳鼻咽喉科として必須の能力をバランスよく研修します
- 3) 専門医取得後は、希望に応じて耳科・鼻科・頭頸部外科などのSubspecialtyに応じた研修を行います
- 4) 臨床研修を行いながら大学院進学が可能です
- 5) 研修中の出産・育児・介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします

臨床研修	
A群 耳鼻咽喉科認定専門研修	医師不足地域従事義務期間外
B群 耳鼻咽喉科認定専門研修	医師不足地域従事義務期間外
基幹病院 耳鼻咽喉科認定専門研修	医師不足地域従事義務期間外

(備考)

同時期の地域枠人数、一般修学人数により、枠の限界による義務年限終了年度に変更があり得る。

研修例 (一例、個別にアレンジします)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
						専門医試験受験			
(1) 地域枠(義務年限9年間)									
ケース1	臨床研修 (医師不足地域内)		基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 県立中央病院	基幹病院 筑波大学	B群 水戸協同病院
									(義務年限終了)
ケース2	臨床研修 (医師不足地域内)	臨床研修 (医師不足地域外)	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 県立中央病院	B群 筑波学園病院
									(義務年限終了)
ケース3	臨床研修 (医師不足地域外)		A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 県立中央病院
									(義務年限終了)
(2) 一般修学(義務年限3~6年間)									
									(備考)
ケース1(3年)	臨床研修 (医師不足地域内)		A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	B群 筑波学園病院	B群 県立中央病院			
									(義務年限終了)
ケース2(3年)	臨床研修 (医師不足地域内)	臨床研修 (医師不足地域外)	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	B群 筑波学園病院	B群 県立中央病院			
									(義務年限終了)
ケース3(3年)	臨床研修 (医師不足地域外)		基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 水戸医療C			
									(義務年限終了)
ケース4(4年)	臨床研修 (医師不足地域内)		基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	B群 筑波学園病院	B群 水戸協同病院			
									(義務年限終了)
ケース5(4年)	臨床研修 (医師不足地域内)	臨床研修 (医師不足地域外)	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 水戸医療C			
									(義務年限終了)
ケース6(4年)	臨床研修 (医師不足地域外)		A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C			
									(義務年限終了)
ケース7(5年)	臨床研修 (医師不足地域内)		基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	B群 筑波学園病院			
									(義務年限終了)
ケース8(5年)	臨床研修 (医師不足地域内)	臨床研修 (医師不足地域外)	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C			
									(義務年限終了)
ケース9(5年)	臨床研修 (医師不足地域外)		A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C		
									(義務年限終了)
ケース10(6年)	臨床研修 (医師不足地域内)		基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C			
									(義務年限終了)
ケース11(6年)	臨床研修 (医師不足地域内)	臨床研修 (医師不足地域外)	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C		
									(義務年限終了)
ケース12(6年)	臨床研修 (医師不足地域外)		A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	基幹病院 筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	A群 茨城西南医療C	
									(義務年限終了)

【耳鼻咽喉科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群 (医師不足地域内病院)	茨城西南医療センター病院
B群病院群 (医師不足地域外病院)	筑波学園病院・筑波記念病院・県立中央病院・水戸医療センター・水戸協同病院

筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 専門医プログラム

	臨床研修期間			後期研修期間							
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
一般修学(義務年限6年)のケース											
ケース1	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	B	A1					
	(義務年限終了)										
ケース2	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	A3						
	(義務年限終了)										
ケース3	臨床研修(地域内)	A1	筑波大学	A2	A3						
	(義務年限終了)										
ケース4	臨床研修(全国可)猶予制度	筑波大学	A1	A2	A3	A4	A5				
	(義務年限終了)										
ケース5	臨床研修(全国可)猶予制度	筑波大学	A1	A2	A3	A4	B(注1)	A5			
	(義務年限終了)										

地域医療枠: 義務年限9年(医師不足地域7年従事)のケース

ケース6	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	B	A3	A4(注1)	A5(注1)			
	(義務年限終了)										
ケース7	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	A3	A4	B(注1)	B(注1)			
	(義務年限終了)										
ケース8	地域内	筑波大・県内	A1	A2	A3	筑波大学	A4	A5(注1)	A6(注1)		
	(義務年限終了)										

地域医療枠: 義務年限9年(医師不足地域5年従事)のケース

ケース9	臨床研修(筑波大・県内)	筑波大学	A1	A2	B	A3	A4(注1)	A5(注1)			
	(義務年限終了)										
ケース10	臨床研修(筑波大・県内)	B	筑波大学	A1	A2	A3	A4(注1)	A5(注1)			

注1: 社会人大学院の利用も可能

6年間終了後専門医取得	(義務年限終了)
-------------	----------

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内中核病院)	日立総合病院、ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター病院、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル病院 等
B群病院群(医師不足地域外中核病院)	筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院、霞ヶ浦医療センター 水戸済生会総合病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、等

注2: あくまでも参考例であり、ケースごとに対応可能です。

筑波大学附属病院脳神経外科・脳卒中科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

- <特徴>
- ・医師不足地域内の3次救命救急センターを有している(日立総合病院(日立市)、茨城西南医療センター病院(境町)、水戸医療センター(茨城町))
 - ・日立総合病院、水戸医療センターは脳血管内治療も施行可能であり、水戸医療センターは脳神経血管内治療学会の研修施設にもなっている。
 - ・頭部外傷、脳卒中、神経救急などの一般的な脳神経疾患が豊富。
 - ・医師不足地域にも、例えば小児や脊髄・脊髄、脳血管外科手術などを得意とする施設があり、それぞれの病院の特性を生かした研修が可能。
 - ・経験豊富な指導医からの指導が得られるため、初期から外科治療の経験が accrues。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
脳神経外科・脳卒中科専門研修
脳神経外科・脳卒中科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	(備考)	
(1) 地域枠（義務年限9年間）													
ケース1	臨床研修(医師不足地域内・外)	B1	筑波大学	A1	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A4	A5	大学院非入车型※	
ケース2	臨床研修(医師不足地域内・外)	B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A4	A5	大学院非入车型※	
(義務年限終了) ※義務年限後に大学院に入学が可能です。													
ケース3	臨床研修(医師不足地域内・外)	B1	A1	筑波大学	A2	A3/B2	筑波大学/B2	筑波大学	大学院研究専従(猶予)		B3/A4	A5	大学院入车型
ケース4	臨床研修(医師不足地域内・外)	B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A4	大学院研究専従(猶予)	A5	大学院入车型
(義務年限終了)													

(2) 一般修学（義務年限6年間）

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	A4	B2	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談			
(義務年限終了)												
ケース2	臨床研修(医師不足地域内)	A1	B1	筑波大学	A2	A3	A4	筑波大学	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談			
(義務年限終了)												

【脳神経外科・脳卒中科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、聖麗メモリアル病院、茨城西南医療センター病院、鶴見脳神経病院、つくばセントラル病院、小山記念病院(関連施設)
B群病院群(医師不足地域外病院)	水戸協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター病院、県南病院、茨城県立医療大学付属病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京都立小児総合医療センター、虎ノ門病院、聖隷浜松病院てんかんセンター、獨協医科大学、横浜市立大学

土浦協同病院 脳神経外科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

特徴

- 1) 東京科学大学と密接な関係を持ち、最先端医療を含めた研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援している。
- 3) 脳神経外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、長期的視野に立った医師育成を目指している。
- 4) 希望者には東京科学大学の各専門内科領域講座に入局し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能。
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
- 6) 内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。
- 7) 当施設を含め東京科学大学の関連施設は女性医師の比率が30%以上と多く、女性医師でも安心して勤務できる環境を提供できる。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
脳神経外科専門研修
脳神経外科Subspecialty専門研
〇〇科・Subspecialty運動研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目

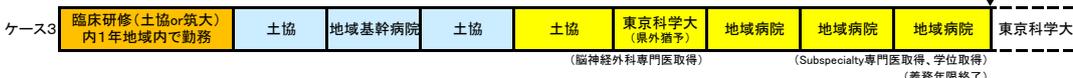
(1) 地域枠(義務年限9年間) 義務年限終了までのサポートを個別に対応、その後のキャリアに関しても個別の希望に応じて



(備考)
臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣



臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣



臨床研修2年が地域内たすき、2年目が土浦協同専門研修猶予活用で義務1年延長



臨床研修2年が土浦協同病院または筑波大専門研修猶予活用で義務1年延長

(2) 一般修学(義務年限6年間)



臨床研修2年の後すべて指定病院へ派遣 専門研修の猶予活用で義務1年延長



臨床研修の1年を土浦協同or筑波大で、専門研修後猶予活用で義務修了が9年目



臨床研修の1年を県外で行い、専門研修後にも猶予活用で義務修了が9年目



臨床研修を県外で行い、専門研修後でも猶予活用するため義務修了が10年目

地域病院例はなめがた地域医療センター。今後さらに連携病院を増やしていく予定

地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能

Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定。

【脳神経外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	JAとりで総合医療センター なめがた地域医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院 武蔵野赤十字病院 国立災害医療センター 都立小児総合医療センター 東京都保健医療公社豊島病院 新渡戸記念中野総合病院 東京北医療センター 青梅市立総合病院 東京ベイ・浦安市川医療センター 関東労災病院 総合病院国保旭中央病院 自治医科大学付属埼玉医療センター 秀和総合病院 草加市立病院 塩田記念病院 富士吉田市立病院 三島総合病院 翠清会榎川病院 釧路孝仁会病院

筑波大学附属病院 放射線科(サブスペシャリティで治療をめざす場合)

基本コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペ専攻医(治療)			
勤務	医師不足地域		大学	日立	県中	大学	ひたちなか	大学	日立 (義務終了)

基本コース(一般修学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペ専攻医(治療)	
勤務	医師不足地域		大学	日立	ひたちなか	日立 (義務終了)	大学

大学院コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペ専攻医(治療)			
勤務	医師不足地域		大学	日立	メディカル	大学	ひたちなか	大学	日立 (義務終了)
大学院博士課程									

大学院コース(一般修学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペ専攻医(治療)	
勤務	医師不足地域		大学	日立	ひたちなか	日立 (義務終了)	大学
大学院博士課程							

研修病院	医師不足地域内医療機関(A病院群)	ひたちなか総合病院、日立総合病院
	医師不足地域以外の研修病院(B病院群)	筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター
	県外の研修病院(C病院群)	国がん東、がん研有明、日赤医療センター、都立駒込、国際医療福祉大学成田病院、QST病院、順天堂大

※実際のローテーションは、各専攻医の習熟度や各病院の指導体制により総合的に決定します

それぞれの希望に応じてキャリアデザインをお手伝いします
地域枠等の方で当科研修を希望される場合は、
ぜひ**学生のうち**からご相談ください。

(臨床研修の施設・内容についても相談に乗ります)

※この表は最短期間で義務を終了する例ですので、

- ・臨床研修を筑波大学附属病院で行いたい
 - ・出産・育児・介護を考えたい
- という方にも相談に乗ります。

- 基本領域専攻医の期間、3ヶ月程度は筑波大学附属病院で放射線診断・IVR科でのローテーション研修が必要です。

◇大学院は昼夜開講型(社会人大学院)を推奨

専攻医(基本領域、サブスペともに)のどの年からでも入学可能です。
研究の進行具合によって、リサーチイヤーとして半年や1年など休職する場合は、専門医・サブスペ専門医の取得がその分遅れる場合があります。

筑波大学附属病院放射線診断・IVR科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

専門研修医（S1・S2・C1・C2・CF）の期間で、放射線科専門医と放射線診断専門医が取得できるプログラムである。
 専門研修のはじめの3年間は、CT・MRI・US・消化管造影・IVR・小児・核医学・治療などの基礎的知識を学ぶ（丁寧な指導医の支援と専門医取得に必要な豊富な症例）。
 放射線科専門医取得後は、本人の趣向や将来の専門性によって研修内容・研修先を本人と相談して決定する。

<研修例>

臨床研修
放射線科専門研修
放射線診断専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 (備考)

(1) 地域枠（義務年限9年間）

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学	A1	A2	A3/B1	B2	筑波大学	筑波大学
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学	A1	A2	A3	A4/B1	B2	筑波大学
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)

※7年目以降については本人の将来の専門性を考えた上で、本人と相談して決定する

※8年目以降については本人の将来の専門性を考えた上で、本人と相談して決定する

※医師不足地域での臨床研修・専攻医研修が難しい場合（医師不足地域の定員枠に余裕がある場合は医師不足地域を優先）

ケース3	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学	B1	A1	例外的措置A2(筑波大学)	B2	例外的措置A3(筑波大学)	B3
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)
ケース4	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学	例外的措置A1(筑波大学)	B2	例外的措置A2(筑波大学)	B3	例外的措置A4(筑波大学)	B4
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)
ケース5	臨床研修(医師不足地域外2年)	筑波大学	例外的措置A1(筑波大学)	B2	例外的措置A2(筑波大学)	A3	例外的措置A4(筑波大学)	筑波大学/A5
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)

(2) 一般修学（義務年限6年間の場合）

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	筑波大学	A1	A2	A3	B3/C1	B4/C2
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		

※医師不足地域での臨床研修・専攻医研修が難しい場合（医師不足地域の定員枠に余裕がある場合は医師不足地域を優先）

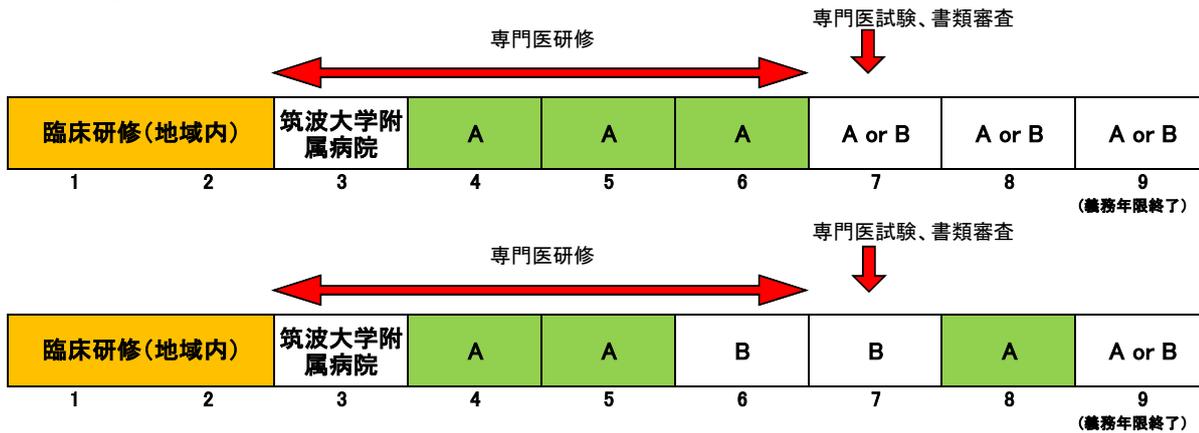
ケース2	臨床研修(医師不足地域内2年)	筑波大学	A1	例外的措置A2(筑波大学)	A3	B1/C1	B2/C2
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学	A1	例外的措置A2(筑波大学)	A3	A4	B1/C1
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		
ケース3	臨床研修(医師不足地域外2年)	筑波大学	A1	例外的措置A2(筑波大学)	A3	例外的措置A4(筑波大学)	A5
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		

【放射線診断・IVR科専門研修研修病院群】

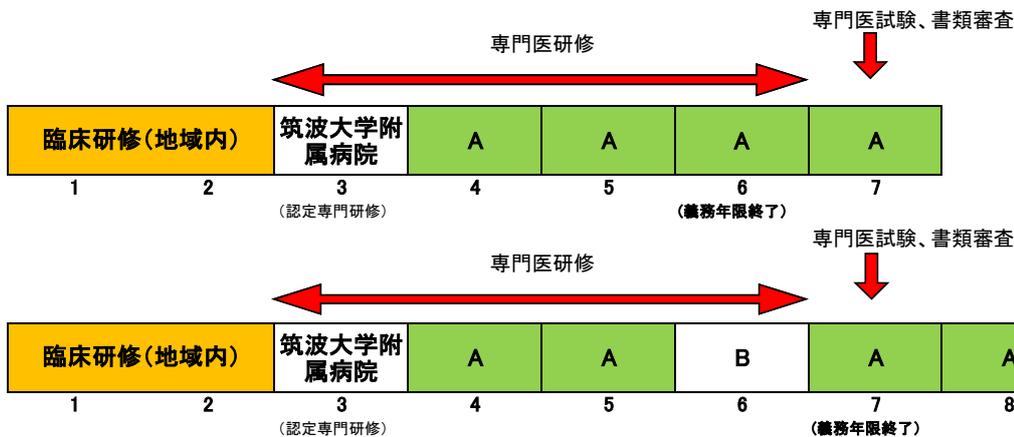
基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立総合病院・牛久委和総合病院 例外的措置A（筑波大学附属病院）：年間200件の医師不足地域のCT画像を読影することで1年間の医師不足地域での研修とカウント
B群病院群（医師不足地域外病院）	茨城県立中央病院・筑波メディカルセンター
C群病院群（県外・海外病院）	埼玉県立小児医療センター・聖路加国際病院・がん研有明病院・群馬県立がんセンター

筑波大学附属病院 麻酔科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



医師不足地域内医療機関(A):
 日立総合病院、龍ヶ崎済生会病院、JAとりで総合医療センター、つくばセントラル病院、西南医療センター、
 神栖済生会病院、東北医療センター高萩協同病院*

医師不足地域外医療機関(B):
 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波記念病院、筑波学園病院、土浦協同病院、
 霞ヶ浦医療センター、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院、茨城県立中央病院

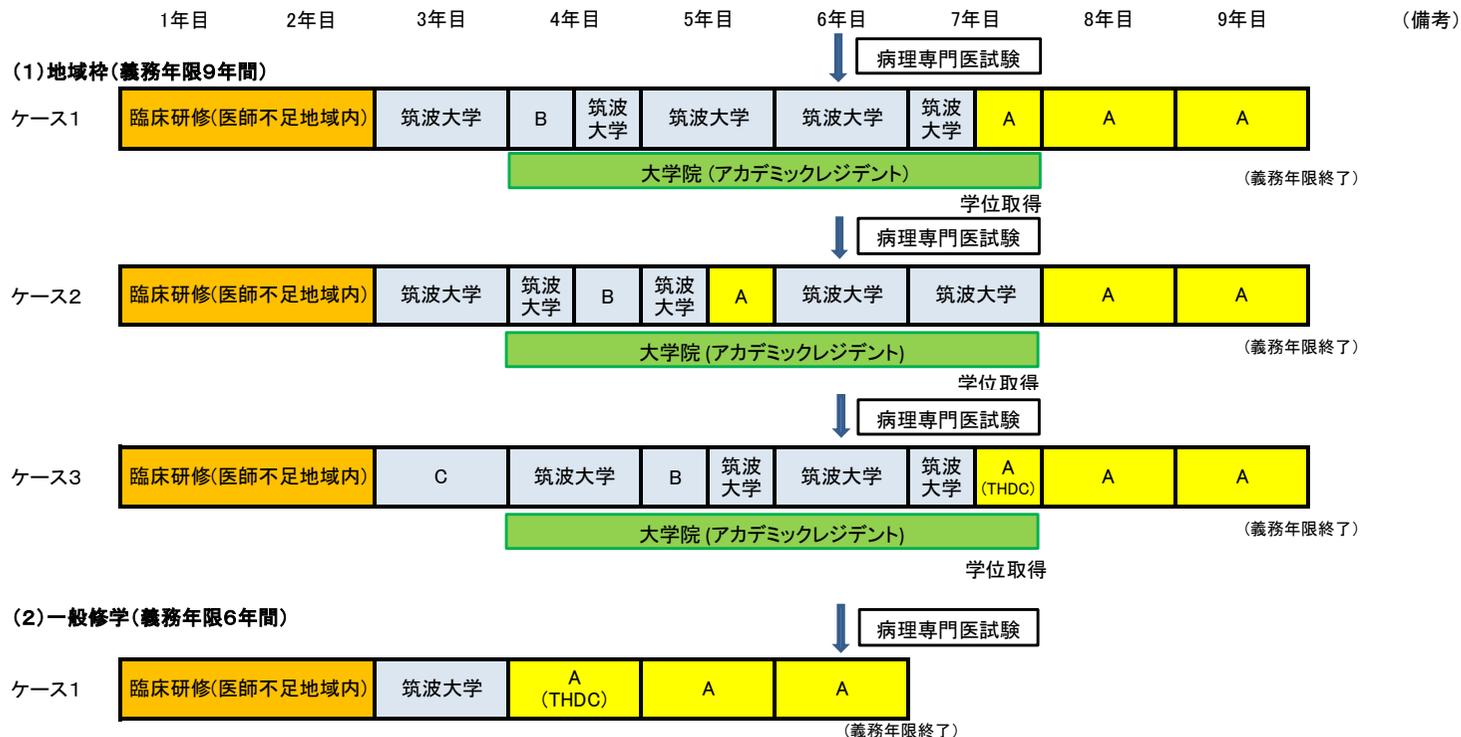
3. 注意事項

- 1) 地域枠、一般修学は原則として、臨床研修で医師不足地域外の医療機関を選択することはできない。
- 2) 麻酔科専門医プログラムはプログラムで定めた研修施設で4年以上の研修を行うことが義務付けられているので、プログラムで定めた研修施設以外の施設(*印)への派遣は原則7年目以降とする。
- 3) 専門医プログラム研修期間中に研修を行う医療機関は、プログラムに定められた必要経験症例数を満たすように配慮され決められる。
- 4) 専門医試験は専門医研修開始後4年目で受験することが可能。ただしその翌年の書類審査に合格しないと専門医資格は得られない。

筑波大学附属病院病理診断科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

- <特徴>
- 1) 筑波大学附属病院研修を柱とし、高度な専門性を伴う病理診断と、併設する「つくばヒト組織診断センター(THDC)」での地域基幹病院のgeneralな病理診断を、並行して経験することができます。
 - 2) プログラム中の大学院進学をサポートし、筑波大学医学医療系診断病理研究室に所属して、実験や論文作成をし、アカデミックキャリア形成を支援します。
 - 3) THDCの病理標本作製・病理組織診断を専任従事することで、一定の条件下では、医師不足地域での勤務経験に含めることができます(例外的措置)。
 - 4) 大学院での研修では、大学スタッフと、つくばヒト組織診断センター(THDC)に所属する連携施設のベテラン指導医から、臓器別、解剖症例の多様な指導を受けることができます。
 - 5) 出産、育児、介護などの家庭状況に合わせて研修内容を設定することができます。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



【病理診断科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城西南医療センター、ひたちなか総合病院 例外的措置(つくばヒト組織診断センター(THDC)): 医師不足地域の病理組織診断に専任従事し、月60例以上、医師不足地域から受託した検体の診断を行った場合に当該地域で研修したものと同等とみなし、医師不足地域での研修とカウント
B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院
C群病院群(県外・海外病院)	国保旭中央病院(千葉)

筑波大学附属病院基幹『茨城県内連携次世代型救急科専門医養成プログラム』：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

茨城県内の全救命救急センターと、すべての医療圏に及ぶ主要救急医療機関全13箇所と連携し、外傷診療、集中治療、ER診療、災害医療、ドクターヘリ・ドクターカー、MC活動など、救急科専門医として求められるすべてのスキルや知識を経験できるプログラムです。3年間の研修期間の中に3ヶ月間の選択期間を設け、臨床研究・基礎研究・社会研究などの学術研修、茨城県グローバル人材養成プログラム制度を活用した海外派遣なども対応可能です。救急医療で求められるどの領域にも苦手意識なく従事でき、サブスペシャリティ研修としての集中治療専門医、外傷専門医、熱傷専門医などに移行しやすいプログラム構成になっています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
集中治療科系Subspecialty専門研修
外傷専門医・Subspecialty連動研修
基本領域ダブルボード研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修	救命センター群	地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など（集中治療専門医施設）		
ケース2	臨床研修	地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	水戸済生会総合病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院など	水戸医療センター、茨城西南医療センターなど（Acute Care Surgery）
ケース3	臨床研修	筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院	救命センター群

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修	救命センター群	地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など（集中治療専門医施設）	
ケース2	臨床研修	地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	水戸医療センター、水戸済生会総合病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院など
ケース3	臨床研修	筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院

【救急科専門医研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
救命センター群	A群病院群(医師不足地域内病院)	日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院
	B群病院群(医師不足地域外病院)	国立病院機構水戸医療センター、水戸済生会総合病院、土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院
地域中核病院群	A群病院群(医師不足地域内病院)	東京医大茨城医療センター、茨城県西部メディカルセンター、牛久愛和総合病院
	B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院
関連施設群	A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、常陸大宮済生会病院、小山記念病院
	B群病院群(医師不足地域外病院)	水戸協同病院
自由選択群	C群病院群(県外・海外病院)	専門医取得上必要な症例を研修する県内外ハイボリュームセンター、県海外グローバル人材派遣事業などの海外研修など

筑波メディカルセンター病院救急科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

「答えは現場にある！」を実践する救急医育成プログラム

地域医療に貢献できる救急医を育成するプログラム

サブスペシャリティ研修につながるプログラム(例:集中治療専門医、外傷専門医)

医師不足地域内/外での研修を通じて茨城県全体を俯瞰できる救急医を育成するプログラム

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修	
救急科専門研修	太字: 医師不足地域内研修
救急科系Subspecialty専門研修	細字: 医師不足地域外研修
〇〇科・Subspecialty運動研修	緑字: サブスペ専門研修施設

集中治療専門医、外傷専門医

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1-1 医師不足地域内臨床研修から(例)集中治療専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域内)	筑メ/東医	水戸済生会	日立総合	日立総合	筑波メディカル	筑波メディカル	筑波メディカル
医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足外/内 医師不足地域外 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域外 医師不足地域外 (義務年限修了)							

ケース1-2 医師不足地域外臨床研修から(例)集中治療専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域外)	筑メ/水戸済	西南医療セ	東医/県中	日立総合	日立総合	日立総合	筑波メディカル
医師不足地域外 医師不足地域外 医師不足地域外 医師不足地域内 不足地域内/外 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域内 (義務年限修了)							

ケース2-1 医師不足地域内臨床研修から(例)外傷専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域内)	筑メ/筑大	東医/水戸済	日立総合	西南医療セ	筑波メディカル	筑波メディカル	筑波メディカル
医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域外 不足地域内/外 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域外 医師不足地域外 (義務年限修了)							

ケース2-2 医師不足地域外臨床研修から(例)外傷専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域外)	日立総合	西南医療セ	水戸済/筑大	東医茨城	東医茨城	東医/筑メ	筑波メディカル
医師不足地域外 医師不足地域外 医師不足地域内 医師不足地域外 医師不足地域内 医師不足地域内 不足地域内/外 (義務年限修了)							

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1-1 医師不足地域内臨床研修から(例)集中治療専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域内)	筑波メディカル	東医/西南	日立総合	日立総合	筑波大	筑波メディカル
医師不足地域内 医師不足地域内 認定専門研修 医師不足地域内 医師不足地域内 (義務年限修了)						

ケース1-2 医師不足地域外臨床研修から(例)集中治療専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域外)	筑波メディカル	西南医療セ	東医茨城	東医茨城	日立総合	日立総合
医師不足地域外 医師不足地域外 認定専門研修 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域内 (義務年限修了)						

ケース2-1 医師不足地域内臨床研修から(例)外傷専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域内)	筑波メディカル	日立総合	東医茨城	西南医療セ	日本医大	日本医大	筑波メディカル
医師不足地域内 医師不足地域内 認定専門研修 医師不足地域内 医師不足地域内 (義務年限修了)							

ケース2-2 医師不足地域外臨床研修から(例)外傷専門医を目指す

臨床研修 (医師不足地域外)	筑波メディカル	東医茨城	西南医療セ	西南医療セ	日立総合	日立総合	筑波メディカル
医師不足地域外 医師不足地域外 認定専門研修 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域内 医師不足地域内 (義務年限修了)							

【救急科専門研修研修病院群】

【専門研修連携施設以外の病院】

基幹病院	筑波メディカルセンター病院	
A-1病院群(医師不足地域内3次救命救急センター)	茨城西南医療センター病院、日立製作所日立総合病院	
A-2病院群(医師不足地域内2次救急病院)	東京医科大学茨城医療センター	
B病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、茨城県立中央病院	
C病院群(県外・海外病院)	日本医科大学付属病院	

土浦協同病院救急集中治療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 広大な医療圏を持ち、多彩な救急症例を豊富に経験できます
- 2) 外傷や内因性緊急疾患に対する病院前診療（ドクターカー・防災ヘリ）、初療、緊急手術（Acute Care Surgery）、術後集中治療を科内で完結しています
- 3) 救急科専門医と外科専門医のダブルボードを取得する独自のプログラムを持っています
- 4) 筑波大学や東京科学大学と密に連携しており、義務年限終了後にさまざまなキャリア形成が可能です

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
救急科専門研修
Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	土浦協同病院or B群病院	A群病院 <small>(救急科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム) <small>(外科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム)	県内医師不足 地域内病院	県内医師不足 地域内病院 <small>(義務年限修了)</small>	
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	土浦協同病院	土浦協同病院or B群病院	A群病院 <small>(救急科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム) <small>(外科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム)	県内医師不足 地域内病院	県内医師不足 地域内病院 <small>(義務年限修了)</small>	
ケース3	臨床研修(医師不足地域外2年)	土浦協同病院	A群病院	A群病院 <small>(救急科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム) <small>(外科専門医取得)</small>	外科専門研修 (県内プログラム)	県内医師不足 地域内病院	県内医師不足 地域内病院 <small>(義務年限修了)</small>	

ケース①～③共通

- ・外科専門医とのダブルボードを取得。救急科専門医であれば外科専門医は2年で取得可能
- ・外科専門研修のうち半年は医師不足地域内病院をローテート。土浦協同病院外科専門研修プログラムであれば、医師不足地域内病院はひたひたなか総合病院など
- ・A群病院は下記「救急科専門研修研修病院群」参照。県内医師不足地域内病院は救急科専門研修プログラムのA群病院以外からも選択可能

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域内)	土浦協同病院 <small>(義務期間算入)</small>	土浦協同病院 <small>(猶予)</small>	A群病院 <small>(救急科専門医取得)</small>	県内医師不足 地域内病院	県内医師不足 地域内病院 <small>(義務年限修了)</small>	外科専門研修 など	外科専門研修 など <small>(外科専門医取得)</small>	
ケース2	臨床研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	土浦協同病院 <small>(義務期間算入)</small>	A群病院	A群病院 <small>(救急科専門医取得)</small>	県内医師不足 地域内病院	県内医師不足 地域内病院 <small>(義務年限修了)</small>	外科専門研修 など	外科専門研修 など <small>(外科専門医取得)</small>	

臨床研修の後すべて指定病院へ派遣
猶予1年活用で義務延長あり

A群病院は下記「救急科専門研修研修病院群」参照。県内医師不足地域内病院は救急科専門研修プログラムのA群病院以外からも選択可能

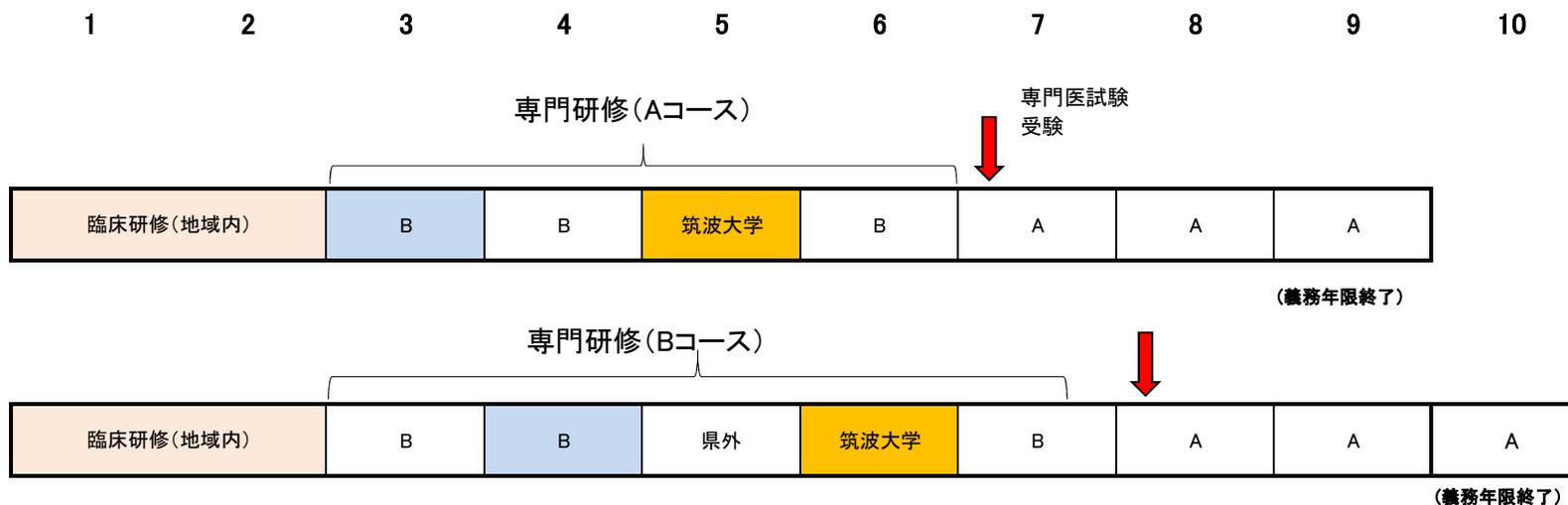
臨床研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
専門研修で猶予1年活用のため義務延長あり
A群病院は下記「救急科専門研修研修病院群」参照。県内医師不足地域内病院は救急科専門研修プログラムのA群病院以外からも選択可能

【救急科専門研修研修病院群】

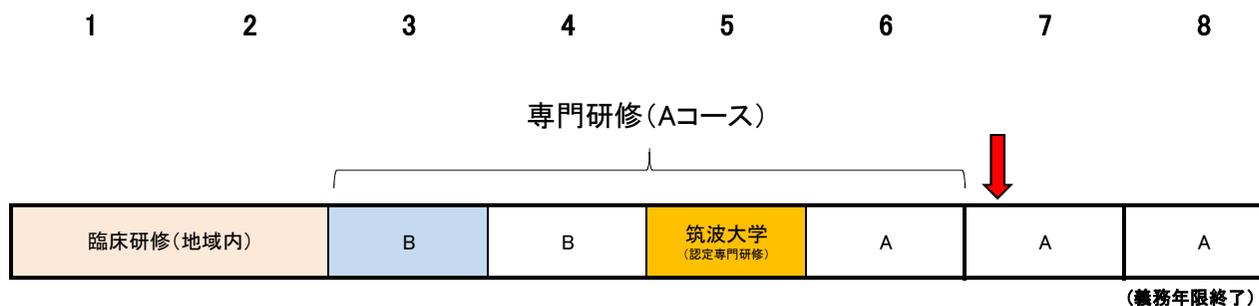
基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	茨城西南医療センター病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、国立病院機構水戸医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院

筑波大学附属病院 形成外科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



A病院群	茨城西南医療センター病院、嶋崎病院、湖南病院、古河病院、木根淵外科胃腸科病院、常陸大宮済生会病院、県西部メディカルセンター
B病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院、水戸済生会総合病院、県立中央病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院
筑波大学附属病院	筑波大学附属病院

筑波大学附属病院 リハビリテーション科専門医プログラム

1. 地域枠(9年間)

<一般モデルケース>

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修(地域内)	筑波大学 リハ・脳外・整形・小 児・救急など	A2/B1/B2	A2/B2	A2/B1/B2	筑波大学	A2	A2	

↑ 専門医試験受験

(義務年限終了)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修(地域外) (筑波大学or県南地域)	筑波大学 リハ科	A2	A2	筑波大学	A2	A2	A2	

↑ 専門医試験受験

(義務年限終了)

<大学院進学ケース>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	(10)	(11)
初期研修(地域内)	筑波大学 リハ・脳外・整形・小 児・救急など	A2	A2	筑波大学	筑波大学	(猶予) 大学院	(猶予) 大学院	A2	A2	

↑ 専門医試験受験

↑ 大学院入学

(義務年限終了)

2. 一般修学(6年間)

1	2	3	4	5	6	7
初期研修(地域内)	筑波大学 リハ・脳外・整形・小 児・救急など	A2	A2	A2	筑波大学	

↑ 専門医試験受験

(認定専門研修)

(義務年限終了)

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院 医師不足地域内医療機関	A1群:急性期病院 なし
	A2群:回復期病院 日立製作所ひたちなか総合病院、志村大宮病院、茨城県立医療大学、JAとりで医療センター
B群病院 医師不足地域外医療機関	B1群:急性期病院 筑波大学附属病院、土浦協同病院、筑波学園病院、茨城県立中央病院、水戸日赤病院
	B2:回復期病院 筑波記念病院

3. 注意事項

- ・一般修学医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。
- ・地域枠医師は、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することも可能。
- ・専門医試験までに、回復期病棟のある病院(A2もしくは、B2)での研修が1年間必要となる。

筑波記念病院リハビリテーション科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション(リハ)機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
- ・県外のリハビリテーション専門病院でも研修でき、急性期リハ、回復期リハ病棟における専門的リハビリテーション、療養病床や老健施設、通所リハ、訪問リハの生活期リハビリテーションまで総合的なリハビリテーションを繰り広げている。
- ・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度なリハビリテーション科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		リハビリテーション科専門研修						

(医師不足地域)
※一般修学資金においては認定
専門研修による筑波記念病院で
の勤務(1年間)も含む。

地域枠(義務年限9年間)

ケース1	臨床研修(医師不足地域外1年・医師不足地域内1年)	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	A2	A3	A4	B2	4.5年間＝臨床1年間＋専門1年間＋6年目以降2.5年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース2	臨床研修(医師不足地域外1年・医師不足地域内1年)	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	A2	A3	A4		5年間＝臨床1年間＋専門1年間＋6年目以降3年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース3	初期研修(筑波記念病院2年(猪予))	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	A1	A2	A3	A4	B2	4.5年間＝専門1年間＋6年目以降3.5年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース4	初期研修(筑波記念病院2年(猪予))	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	A1	A2	A3	A4		5年間＝専門1年間＋6年目以降4年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース5	臨床研修(医師不足地域内2年)	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	筑波記念病院	A2	A3	B2	4.5年間＝臨床2年間＋専門研修1年間＋6年目以降1.5年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース6	臨床研修(医師不足地域内2年)	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	筑波記念病院	A2	A3		5年間＝臨床2年間＋専門研修1年間＋6年目以降2年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					

一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(筑波記念病院2年(義務期間算入))	筑波記念病院	A1	A2	A3					6年間＝臨床研修2年間＋専門研修3年間＋6年目以降1年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					
ケース2	臨床研修(医師不足地域内2年)	筑波記念病院	A1	A2	A3					6年間＝臨床研修2年間＋専門研修3年間＋6年目以降1年間
		(リハ科専門医取得)			(義務年限修了)					

【リハビリテーション科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、志村大宮病院、有田内科整形リハビリクリニック
B群病院群(医師不足地域外病院)	霞ヶ浦リハビリテーション整形外科クリニック、水戸赤十字病院、
C群病院群(県外・海外病院)	帝京大学医学部附属病院、初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院、戸田中央リハビリテーション病院

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム

<特徴>

- ・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究(研究専従期間は義務猶予となります)をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
総合診療専門研修Ⅰ
総合診療専門研修Ⅱ
必修領域別研修(内科、小児科、救急)と大学総診
選択領域別研修(緩和、整形、産婦、リハ等)

総合診療専門研修プログラム

(1)地域枠(義務年限9年間)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)			
ケース1	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所 小病院 A	小児 選択 B	病院 内科 B	診療所・ 小病院 A	選択 A or B	診療所・ 小病院 A	診療所・ 小病院 A or B	家庭医療に重点を置いたコース		
											(義務年限終了)			
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)		
ケース2	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	診療所 等 A	水戸協同 B	小児 選択 A	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A	水戸協同 B	選択 A or B	病院 総合診療科 A or B	病院総合診療に重点を置いたコース		
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)		
ケース3	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所 小病院 A	病院 内科 B	小児 緩和 B	緩和医療に 強い診療所 A	選択 A or B	非がん緩和医療に 強い病院・診療所 A	非がん緩和医療に 強い病院・診療所 A or B	緩和医療に重点を置いたコース		
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)		
												(緩和医療専門医取得)		
ケース4	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所 小病院 A	小児 選択 A	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A	筑波大学* B	産休・育休 B	筑波大学* A or B	診療所・ 小病院 A or B	診療所・ 小病院 A or B	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1: 女性医師支援制度を利用した週30~32時間勤務
													(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)	
													(義務年限終了)	
ケース5	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所 小病院 A	小児 選択 A	病院 内科 A	診療所・ 小病院 B	大学院専従 (猶予) B	診療所・ 小病院 B	診療所・ 小病院 A	診療所・ 小病院 A or B	学位と専門医を取得するコース	
													(大学院入学)	
													(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)	
													(大学院卒業)	
													(義務年限終了)	

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所 小病院 A	病院 内科 A	小児 選択 A	診療所・ 小病院 A	病院・ 診療所 A			地域枠同様、専攻医の希望に応じた アレンジができます
												(認定専門研修)
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)
												(義務年限終了)

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、 大和クリニック、利根町国保診療所 神栖済生会病院	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、 茨城西南医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	笠間市立病院	水戸協同病院、石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)	

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム

<特徴>

- ・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究(研究専従期間は義務猶予となります)をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)				
(1)地域枠(義務年限9年間)															
ケース1	臨床研修(地域外)	筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 B	診療所・小病院 A	小児 B	選択 B	病院内科 B	診療所・小病院 A	選択 A	診療所・小病院 A	家庭医療に重点を置いたコース			
											(義務年限終了)				
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)			
ケース2	臨床研修(地域外)	筑波大学 B	筑波大学 B	診療所等 A	水戸協同 B	選択 A	小児 A	病院内科 A	診療所・小病院 A	水戸協同 B	選択 A	病院総合診療科 A	病院総合診療に重点を置いたコース		
												(義務年限終了)			
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)			
ケース3	臨床研修(地域外)	筑波メディカル B	筑波大学 B	水戸協同 B	診療所・小病院 A	病院内科 A	小児 A	緩和 A	緩和医療に強い診療所 A	選択 A or B	非がん緩和医療に強い病院・診療所 A	非がん緩和医療に強い病院・診療所 A	緩和医療に重点を置いたコース		
												(義務年限終了)			
												(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)	(緩和医療専門医取得)		
ケース4	臨床研修(地域外)	筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 B	診療所・小病院 A	小児 A	選択 A	病院内科 A	診療所・小病院 A	筑波大学*1 B	産休・育休 B	筑波大学*1 A	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1: 女性医師支援制度を利用した週30~32時間勤務
															(義務年限終了)
															(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)
ケース5	臨床研修(地域外)	筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 B	診療所・小病院 A	小児 A	選択 A	病院内科 A	診療所・小病院 B	大学院専従(猶予) A	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	学位と専門医を取得するコース	
															(義務年限終了)
															(大学院入学)
															(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)
															(大学院卒業)

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修 I 施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、 大和クリニック、利根町国保診療所 神栖済生会病院	総合診療専門研修 II、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、 茨城西南医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	笠間市立病院	水戸協同病院、石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)	

北茨城市民病院総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

保健・医療・介護の連携に向けて、包括的に医師の立場から健康にかかわる問題についての助言、臓器別の領域を超えた標準的な医療の提供ができる総合診療専門医を養成します。
 附属診療所である家庭医療センター（筑波大学地域教育ステーション）で、総合診療専門研修1を研修できるため、密な連携が可能です。
 院外研修として、学校医や北茨城コミュニティケア研究会などに参画し、地域医療の重要性を現場から吸収できる環境を整えています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別に構成いたします

初期研修
総合診療科専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	(備考)						
(1)地域枠(義務年限9年間)																		
ケース1	初期研修 (医師不足地域内・外)	北茨城市民病院	市民病院 日立総合 総診Ⅱ	市民病院 日立総合 内科	日立総合 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	専門研修を医師不足地域のみで行った場合					
									(総合診療専門医取得)			(義務年限終了)						
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、皮膚科等を選択可能									
ケース2	初期研修 (医師不足地域内・外)	北茨城市民病院	北茨城市民病院 総診Ⅱ	B群病院 内科	B群病院 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	専門研修(診療科別研修)をA群、B群病院で行った場合					
									(総合診療専門医取得)			(義務年限終了)						
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科等を選択可能 ◎ 診療科別研修期間はA群、B群病院から専攻医の希望により選択									
ケース3	初期研修 (医師不足地域内・外)	北茨城市民病院	北茨城市民病院 総診Ⅱ	B群病院 内科	B群病院 選択※	B群 救急	B群 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	専門研修(診療科別研修)をB群病院のみで行った場合					
									(総合診療専門医取得)			(義務年限終了)						
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科等を選択可能 ◎ 診療科別研修期間はすべてB群病院から専攻医の希望により選択									
ケース4	初期研修 (医師不足地域内・外)	北茨城市民病院	市民病院 日立総合 総診Ⅱ	市民病院 日立総合 内科	日立総合 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	市民病院	産休 育休	育休	市民病院 時短	市民病院 時短	市民病院	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院	ケース1にて産休・育休を1年取得しその後1年間時短勤務(週32時間以上)を行った場合
									(総合診療専門医取得)			※時短:週32時間以上						(義務年限終了)
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、皮膚科等を選択可能									

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修 (医師不足地域内)	北茨城市民病院	市民病院 日立総合 総診Ⅱ	市民病院 日立総合 内科	日立総合 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院					医師不足地域のみで勤務した場合				
									(総合診療専門医取得・義務年限終了)									
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、皮膚科等を選択可能									
ケース2	初期研修 (医師不足地域内)	北茨城市民病院	日立総合 B群病院 総診Ⅱ	日立総合 B群病院 内科	日立総合 B群 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院					専門研修(診療科別研修)のうち1年間をB群病院で行った場合				
									(総合診療専門医取得・義務年限終了)									
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科等を選択可能 ◎ 診療科別研修期間のうち「B群病院での研修は最大1年間」(認定専門研修)									
ケース3	初期研修 (大学病院) ※猶予期間	初期研修 (医師不足地域)	北茨城市民病院	市民病院 日立総合 総診Ⅱ	市民病院 日立総合 内科	日立総合 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院			初期研修を大学病院1年、医師不足地域で1年実施した場合				
									(総合診療専門医取得)									
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、皮膚科等を選択可能									
ケース4	初期研修 (大学病院) ※猶予期間	北茨城市民病院	日立総合 B群病院 総診Ⅱ	日立総合 B群病院 内科	日立総合 B群 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院	北茨城市民病院 A群病院			初期研修を大学病院で2年、専門研修(診療科別研修)のうち1年間をB群病院で行った場合				
									(総合診療専門医取得)									
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科等を選択可能 ◎ 診療科別研修期間のうち「B群病院での研修は最大1年間」(認定専門研修)									
ケース5	初期研修 (医師不足地域内)	北茨城市民病院	市民病院 日立総合 総診Ⅱ	市民病院 日立総合 内科	日立総合 選択※	日立 救急	日立 小児	家庭医療 総診Ⅰ	市民病院	産休 育休	育休	市民病院 時短	市民病院 時短	市民病院	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院・B群病院	北茨城市民病院 A群病院	ケース1にて産休・育休を1年取得しその後1年間時短勤務(週32時間以上)を行った場合
									(総合診療専門医取得)			※時短:週32時間以上						(義務年限終了)
									※ 選択診療科は、専攻医の希望により連携施設から内科、外科、皮膚科等を選択可能									

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	北茨城市民病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、北茨城市民病院附属家庭医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立中央病院、茨城県立こころの医療センター、茨城県立こども病院、筑波大学附属病院、筑波大学(臨床疫学)
C群病院群(県外・海外病院)	-

東京医科大学茨城医療センター総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・様々な規模の病院で活躍できる、病院総合診療医になることができます。
- ・将来開業や訪問診療を目指す場合、家庭医療のプロフェッショナルになることもできます。
- ・各専攻医のニーズ・将来の目標に合わせて、新たな関連病院との連携を行います。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
総合診療専門研修
総合診療系Subspecialty専門研修
総合診療・Subspecialty運動研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター				病院総合診療医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(病院総合診療専門医取得)				(義務年限終了)
ケース1-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター				病院総合診療医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(病院総合診療専門医取得)				(義務年限終了)
ケース2-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	A2	A3				家庭医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
ケース2-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	A2	A3				家庭医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
ケース3-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	A2					短縮版家庭医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
ケース3-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	A2					短縮版家庭医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター					病院総合診療医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(病院総合診療専門医取得)				(義務年限終了)
ケース1-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター				病院総合診療医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(義務年限終了)	診療専門医取得			
ケース2-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	A2					家庭医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
ケース2-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	A2	A3				家庭医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(義務年限終了)	家庭専門医取得			
ケース3-1	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター	茨城医療センター	A1	A2					短縮版家庭医コース
				半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)
ケース3-2	臨床研修(医師不足地域内)	東京医科大学茨城医療センター	C1	茨城医療センター	A1	A2	A3				短縮版家庭医コース(猶予)
			認定専門研修(猶予)	半年	半年	(総合診療専門医取得)	(新・家庭医専門医取得)				(義務年限終了)

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	東京医科大学茨城医療センター
A群病院群(医師不足地域内病院)	北茨城市民病院附属家庭医療センター、セントラル総合クリニック、神栖済生会病院、みんなの外科内科クリニック、志村大宮病院、宮本病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学、筑波記念病院、笠間市立病院、水海道さくら病院
C群病院群(県外・海外病院)	豊田地域医療センター、桜新町アーバンクリニック、同善会クリニック、同善病院、太田西之内病院、聖マリア病院、飯塚病院、東京医科大学病院、東邦大学大森医療センター、品川病院、四街道徳洲会病院、国立循環器病研究センター、聖路加国際病院、国府台医療センター、国立精神・神経医療研究センター、NTT東日本総合病院